

市民・有識者アンケートの結果について

1 アンケートの目的

市民および各界の有識者等に住宅・住環境に関するアンケートを実施することで、本市が住宅施策を推進する上での課題の把握を図るものです。

2 アンケートの対象者

- ◆市民・・・住民基本台帳より無作為抽出した満18歳以上の世帯主2,000名
- ◆有識者・・・自治会、市内不動産業、福祉事業関係者、商工会議所、PTA

3 アンケートの期間

- ◆市民・・・令和3年3月1日～3月15日
- ◆有識者・・・令和3年2月25日～3月15日

4 調査票の対象者数と回収結果

	市民対象	有識者対象
アンケート配布数	2,000人	71名
アンケート回収数	836票	48票
アンケート回収率	41.8%	67.6%

◆市民対象配布先

学区	世帯数	配布数	割合
守山	10,927	655	32%
吉身	7,104	426	21%
小津	2,224	133	7%
玉津	1,515	91	5%
河西	5,726	344	17%
速野	4,947	297	15%
中洲	894	54	3%
合計	33,337	2,000	100%

◆有識者対象配布先

分類	小分類	配布数
自治会	各学区長	7
不動産業関係者	市内不動産業者	6
福祉事業関係者	社会福祉協議会 役員	8
	民生委員 役員	8
	障害者福祉 関係事業者	4
商工会議所	正副・常議員	16
PTA	幼・保・小・中学校 PTA 会長	22
合計		71

※学区ごとの人口分布に基づき配布数を決定

5 アンケート結果

次ページ以降にアンケート結果の概要を示します。

1 市民アンケート設問内容（全 32 問）

1 回答者の属性について	
(1)	お住まいの地域、年齢について
(2)	世帯人数・家族構成について
(3)	世帯における高齢者（65 歳以上）の有無について
(4)	就労状況・場所について
(5)	現在の住まいへの居住期間について
(6)	コミュニティ活動（自治会など）への参加状況について
2 現在の住まいについて	
(1)	現在の住まいへ居住した理由について
(2)	以前の居住地について
(3)	住宅の所有関係について
(4)	住宅の形態をいついて
(5)	住宅の面積（延べ床面積）について
(6)	賃貸住宅などに入居しようとした際に制限を受けた経験について
(7)	親または子の世帯との同居・近居の状況について
(8)	親または子の世帯と同居・近居する場合の課題について
3 定住・転居の意向について	
(1)	定住・転居の意向の意向について
(2)	転居する場合の住宅の形態について
(3)	転居先の住宅で優先されるものについて
(4)	今後の住宅についての希望について（高齢者対象）
4 リフォーム（改築）について	
(1)	リフォーム（改築）の予定について
(2)	リフォーム（改築）の内容について
(3)	リフォームを行う際の課題について
5 空き家について	
(1)	近隣における空き家の状況について
(2)	空き家を所有状況について
(3)	所有する空き家の今後の利活用（予定）について
(4)	所有する空き家の課題について
6 同居・近居の意向について（親と同居する“子”対象）	
(1)	あなたの年齢について
(2)	親との同居の継続（予定）について
(3)	親との近居に関する希望について
7 住宅・住環境に関する満足度・重要度について	
(1)	現在の住宅の満足度、および住宅において重要となるもの
(2)	現在の住環境の満足度、および住環境において重要となるもの
8 守山市の住宅関連施策に関する満足度・重要度について	
(1)	守山市の住宅関連施策に関する満足度
(2)	守山市の住宅関連施策において今後重要となるもの
9 守山市の住宅・住環境について（自由記述）	

2 有識者アンケート設問内容（全 3 問）

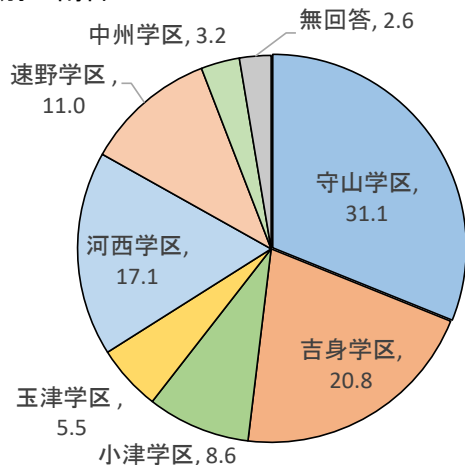
1	守山市の住宅関連施策の満足度について
2	守山市の住宅関連施策の重要度について
3	守山市の住宅・住環境について（自由記述）

1 回答者の属性

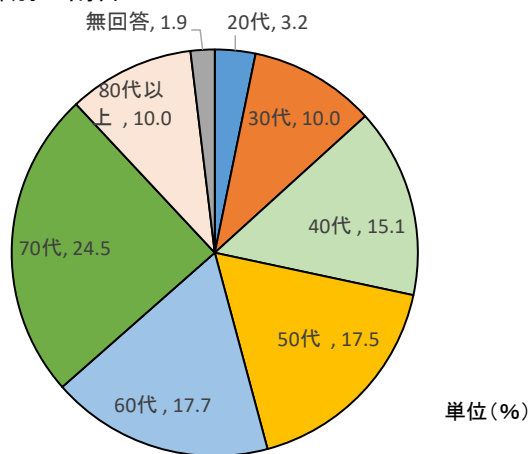
(1) 学区・年齢

学区別では、守山市の人口分布と同様の割合になっており、年齢については、60代以上が過半数を占めました。

学区別の割合



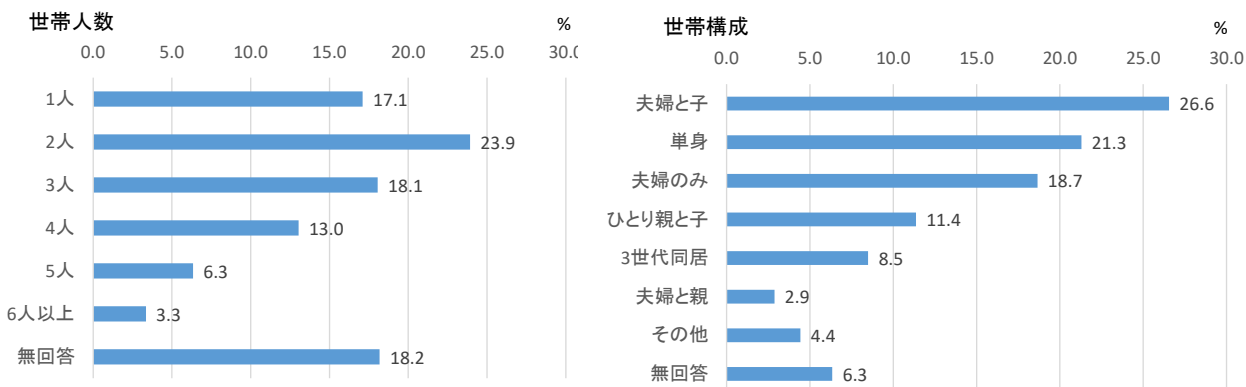
年齢別の割合



(2) 世帯の人数・構成

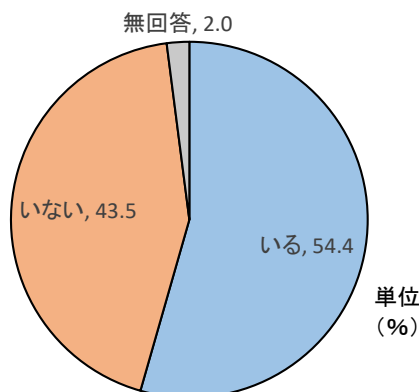
世帯人数は、2人が最も多く (23.9%)、次いで3人 (18.1%) となりました。

構成は、夫婦と子の世帯が最も多く (26.6%)、次いで単身世帯 (21.3%) となりました。



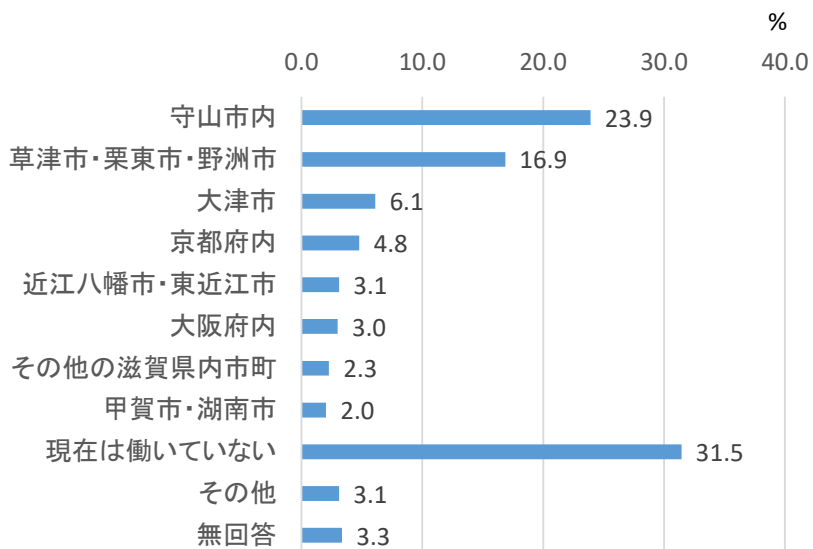
(3) 高齢者を有する世帯の状況

家族に65歳以上の高齢者がいる世帯が455人 (54.4%) となり、過半数を占めました。



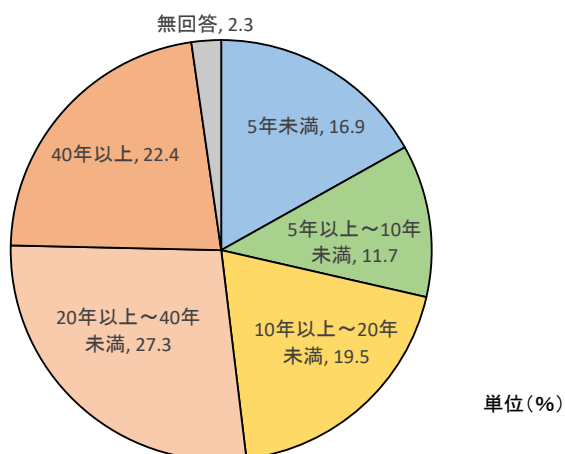
(4) 就労状況・就労場所

「現在は働いていない」の回答が最も多く（31.5%）、次いで「守山市内」（23.9%）、「草津市・栗東市・野洲市」（16.9%）の順となっています。



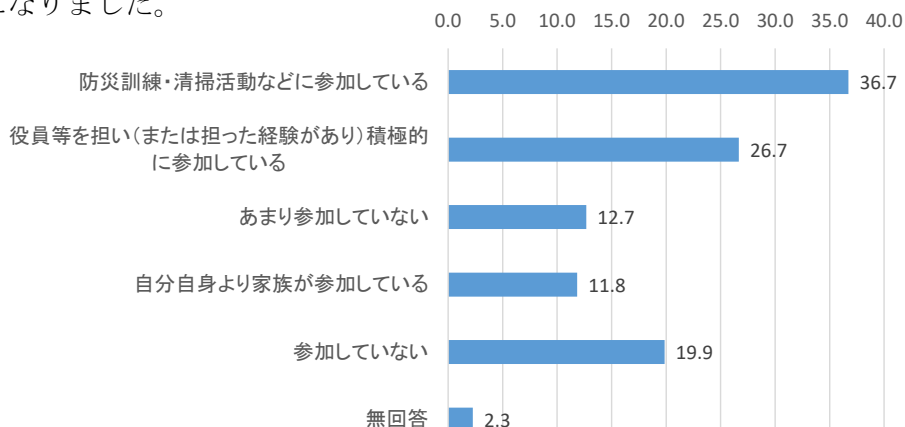
(5) 現在の住まいへの居住期間

「20年以上～40年未満」が最も多く（27.3%）、次いで「40年以上」が187人（27.3%）、「10年以上～20年未満」が163人（19.5%）の順となっています。



(6) コミュニティ活動（自治会など）への参加状況

32.6%の方がコミュニティ活動に「参加していない」または「あまり参加していない」という結果になりました。



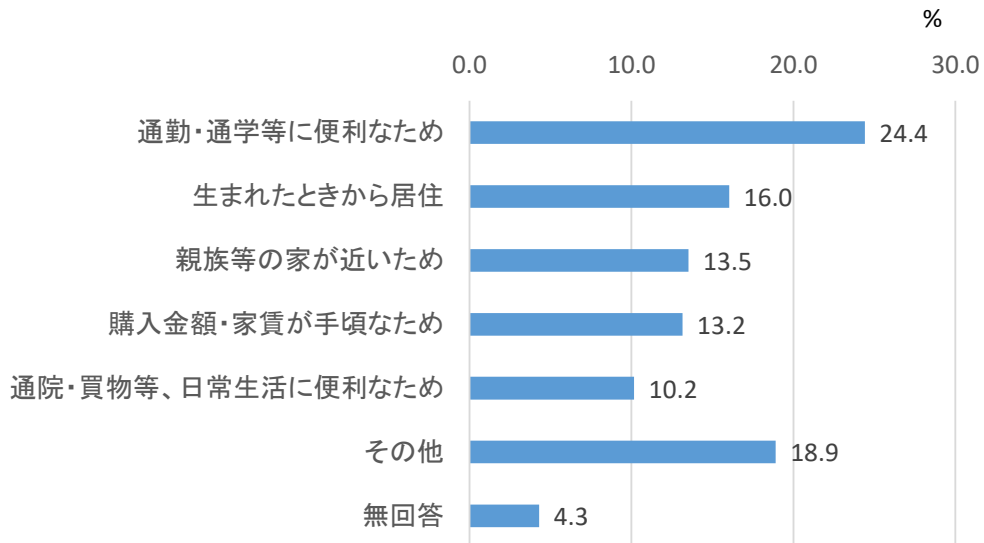
※複数回答が可能なため合計は100%を超えます

2 現在の住まいについて

(1) 現在の場所に居住した理由

●通勤・通学の利便性により居住された方が多い

「通勤・通学等に便利のため」が204人（24.4%）と最も多く、次いで「生まれた時からの居住」が134人（16.0%）となりました。

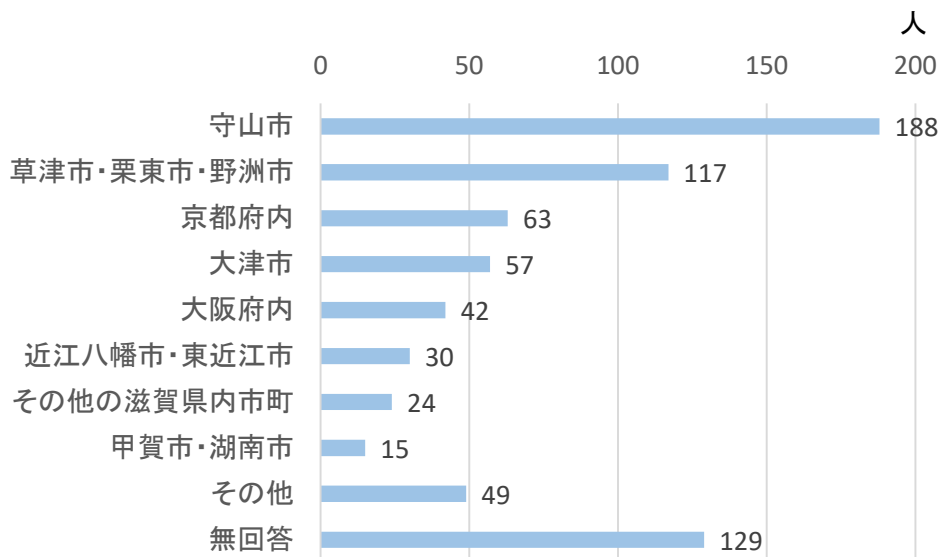


※複数回答が可能なため合計は100%を超えます

(2) 以前の居住地

●守山市内または近隣市からの移転者が多くを占める

「守山市」が188人（26.6%）、次いで「草津市・栗東市・野洲市」が117人（16.6%）となりました。（前問で「生まれたときから居住」以外の回答をした方がのみが回答）

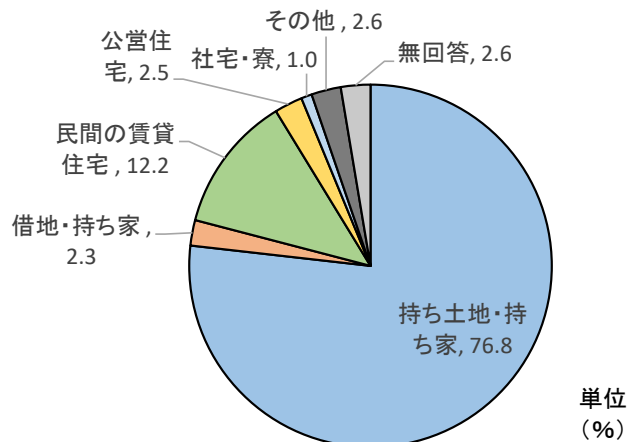


※複数回答が可能なため合計は100%を超えます

(3) 住宅の所有関係

● 持ち土地・持ち家の方が高い割合を占める

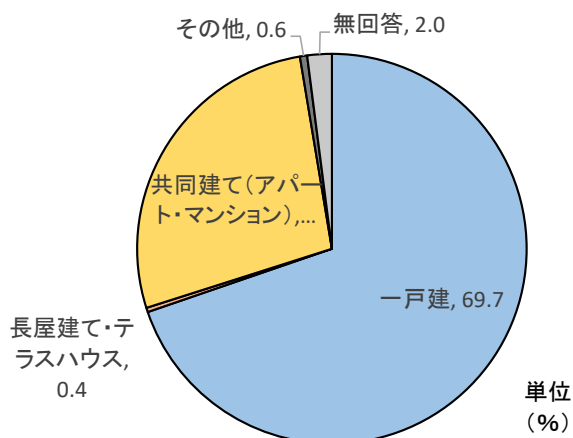
「持ち土地・持ち家」が最も多く 642 人 (76.8%)、次いで「民間の賃貸住宅」が 102 人 (12.2%) の順となっています。



(4) 住宅の形態

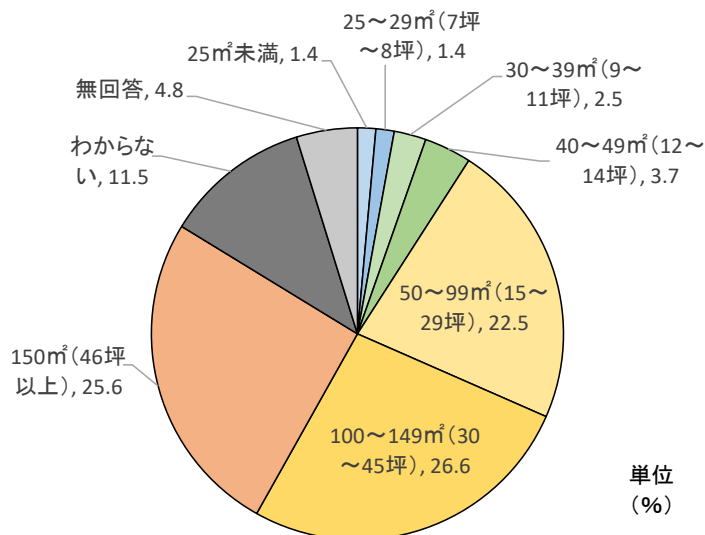
● 一戸建てに居住する方が高い割合を占める

「一戸建」が最も多く 583 人 (69.7%)、次いで「共同建て (アパート・マンション)」が 228 人 (27.3%) の順となっています。



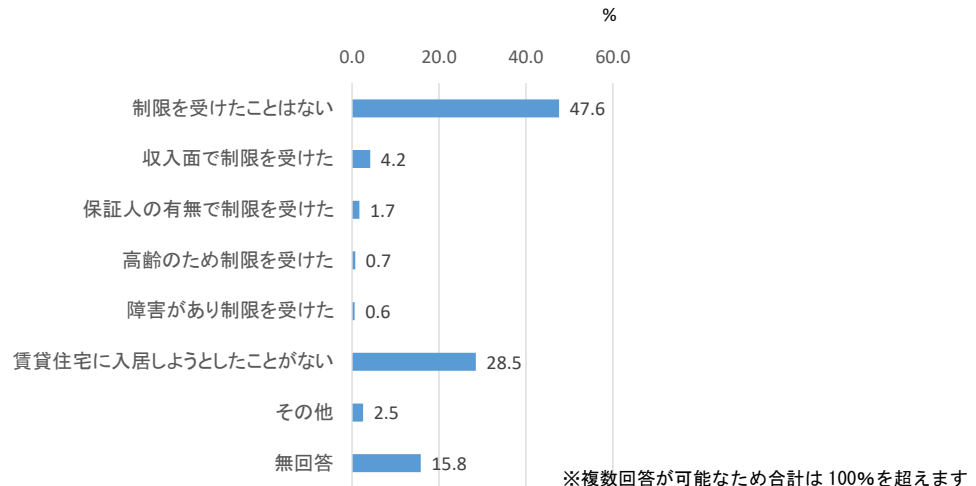
(5) 住宅の面積 (延べ床面積)

● 100~149 m²、または 150 m²以上の住居の方が過半数を占める



(6) 賃貸住宅などに入居しようとした際に制限を受けた経験

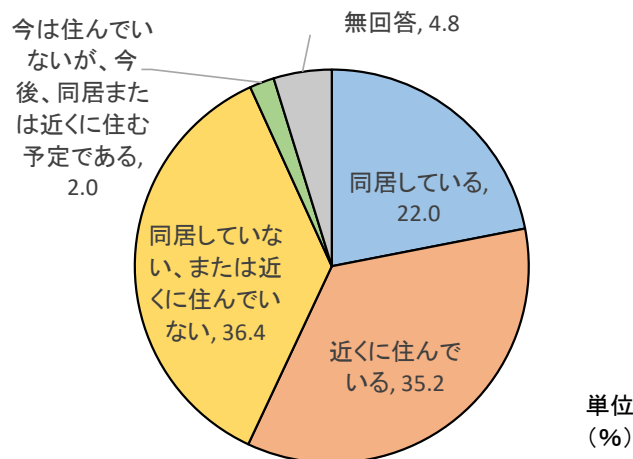
●数は少ないが、保証人の有無、収入状況、年齢などにより制限を受けた方がいる



(7) 親または子の世帯との同居・近居の状況

●過半数が同居または近居している

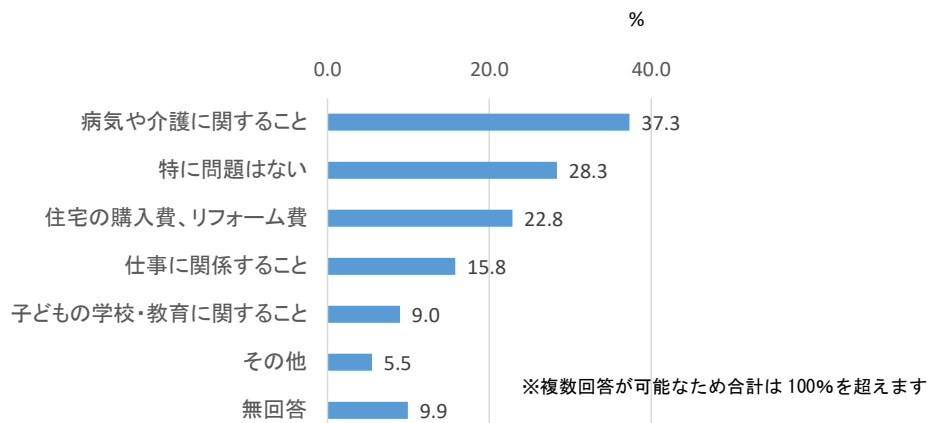
「近くに住んでいる」の294人(35.2%)と「同居している」の184人(22.0%)の合計により、過半数が同居・近居していることが分かりました。



(8) 今後、親または子の世帯と同居・近居する場合の課題

●多くの方が病気や介護に関することを課題としている

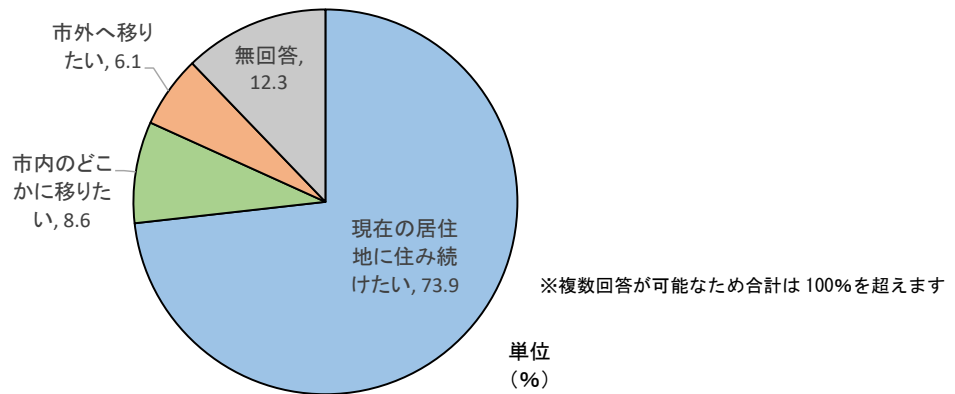
・「病気や介護に関すること」が最も多く312人(37.3%)、次いで「住宅の購入費、リフォーム費」が191人(22.8%)の順となっています。



3 定住・転居の意向について

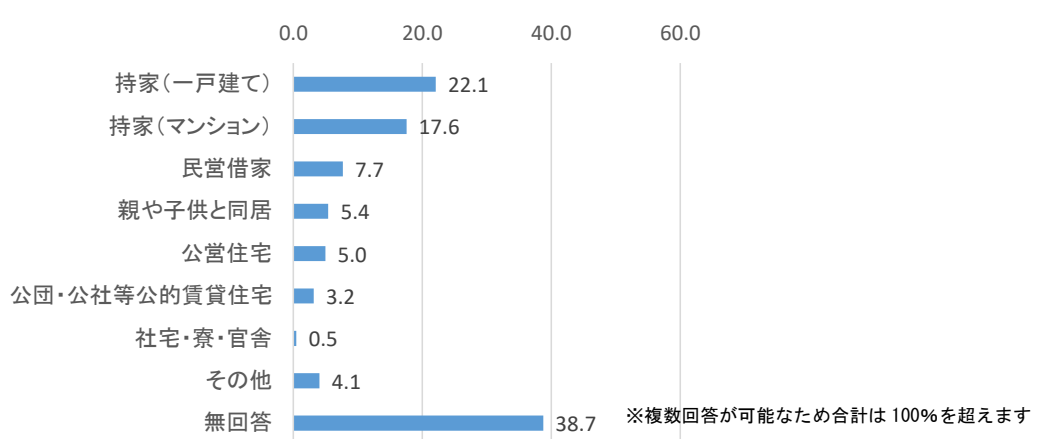
(1) 定住意向について

● 今後も現在の居住地に住みたい方が多く、7割以上を占める



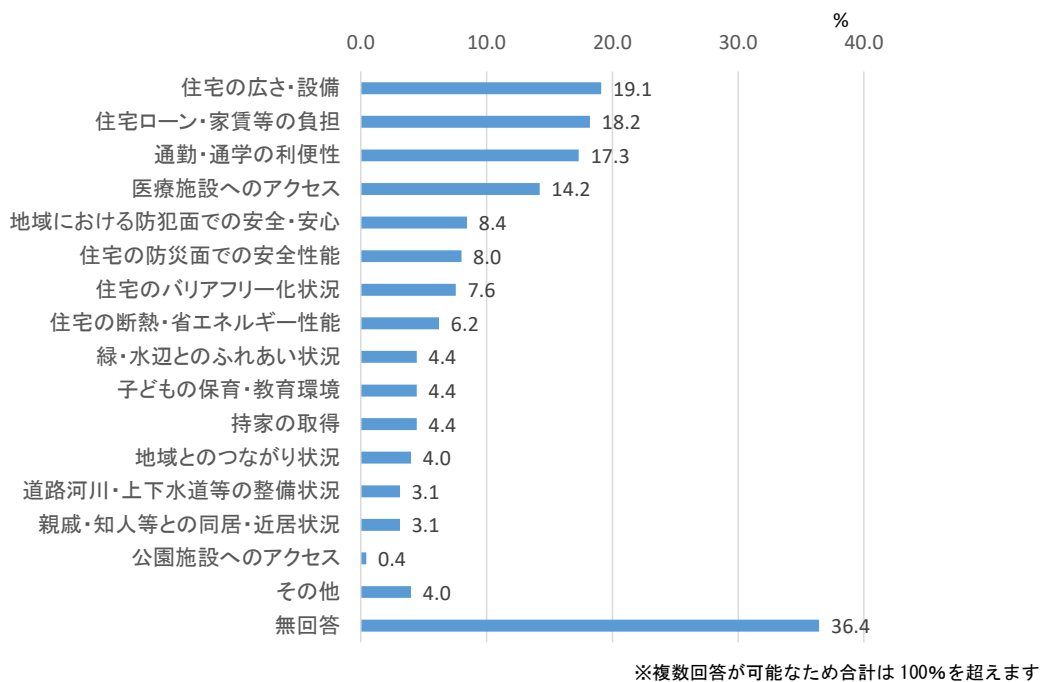
(2) 移転する場合の住居形態

● 移転先については、持ち家（一戸建て、マンション）の意向が強い



(3) 移転先の住宅・住環境で優先されるもの

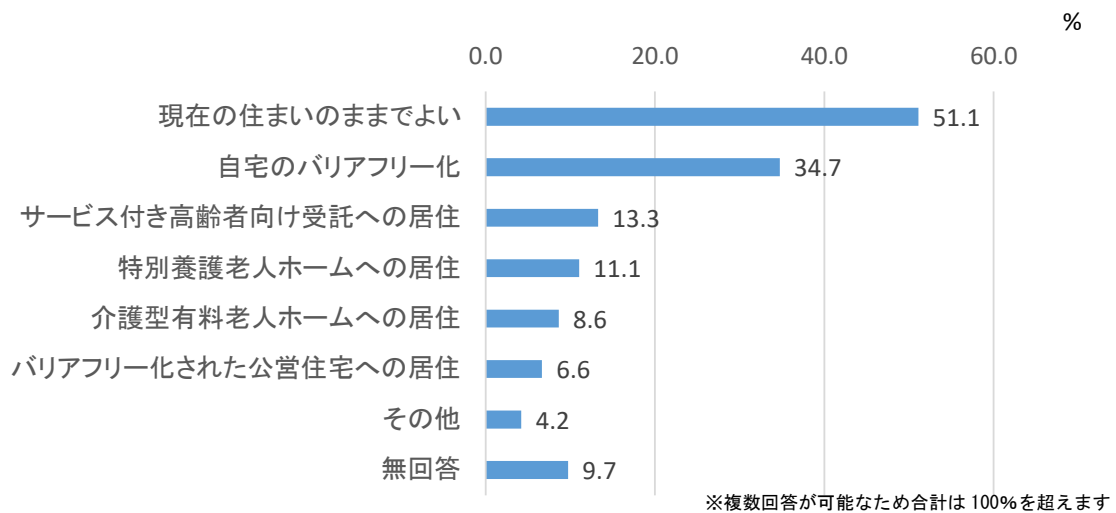
● 「住宅の広さ・設備」、「住宅ローン・家賃の額」を重要視される方が多い



(4) 高齢者（65歳以上）の定住・転居に関する意向について

●定住の意向が強く、34.7%の方が自宅のバリアフリー化を希望

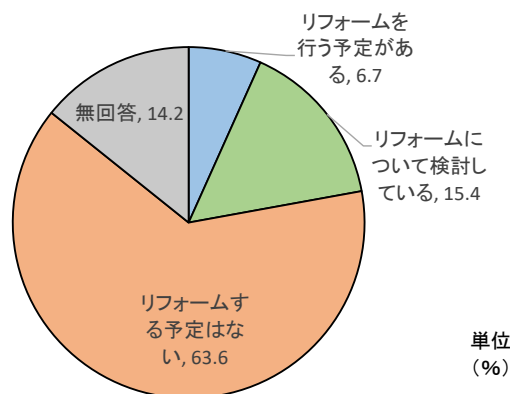
「現在の住まいのままでよい」が最も多く231人（51.1%）、次いで「自宅のバリアフリー化」が157人（34.7%）、「サービス付き高齢者向け受託への居住」が60人（6.6%）の順となっています。



4 リフォーム（改築）について

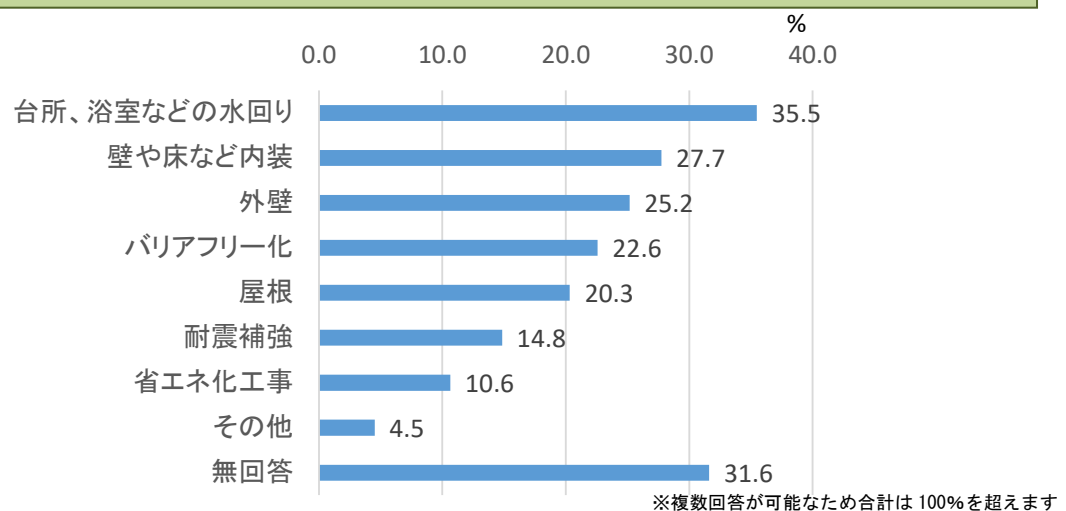
(1) リフォーム（改築）の予定

●全体の22.1%がリフォーム（改築）を予定、または検討している



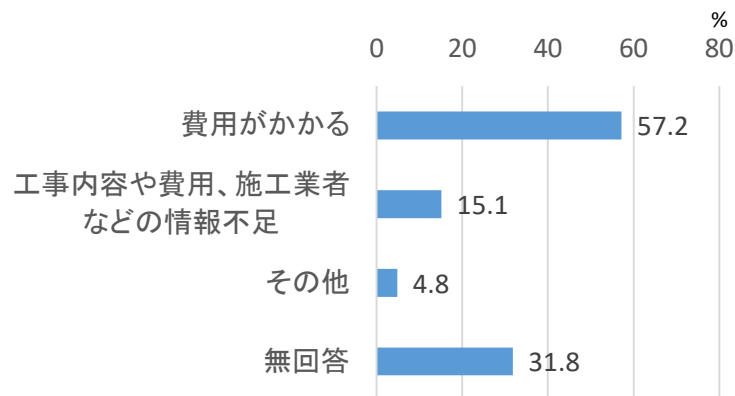
(2) リフォーム（改築）の内容

●「水回り」、「内装」、「外壁」に関するリフォーム（改築）の意向が強い



(3) リフォーム（改築）を行うにあたっての課題

●費用面を課題とされている方が過半数を占める



5 空き家について

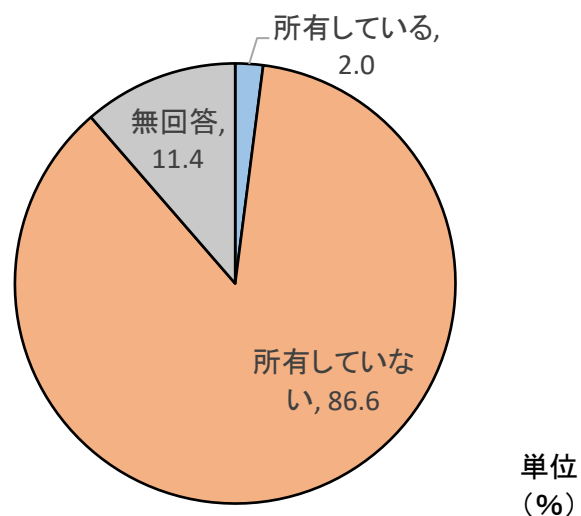
(1) 自宅近隣の空き家の状況について

●防犯や安全面で不安を抱かれている人が多い



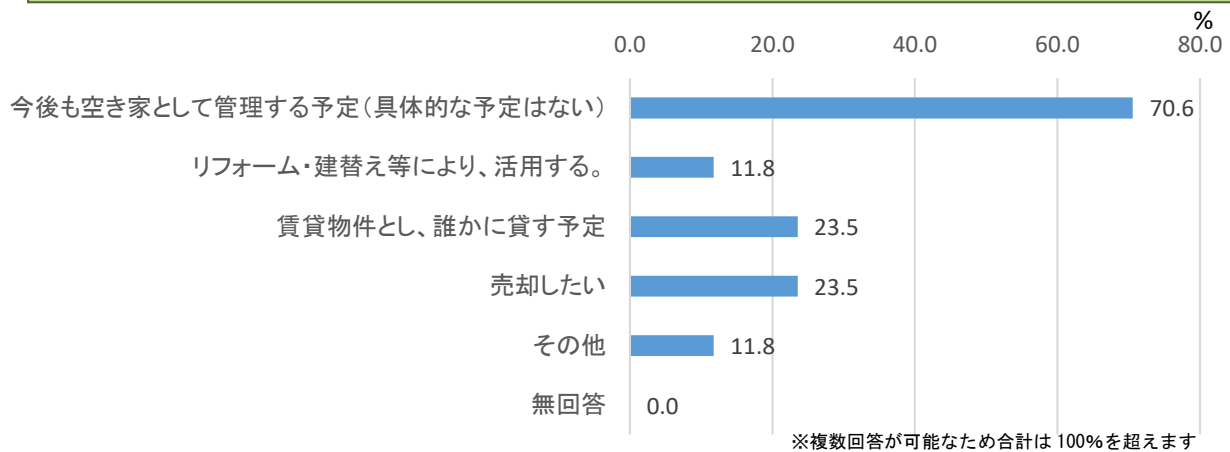
(2) 空き家の所有について

●約2%（17人）の方が空き家を所有している



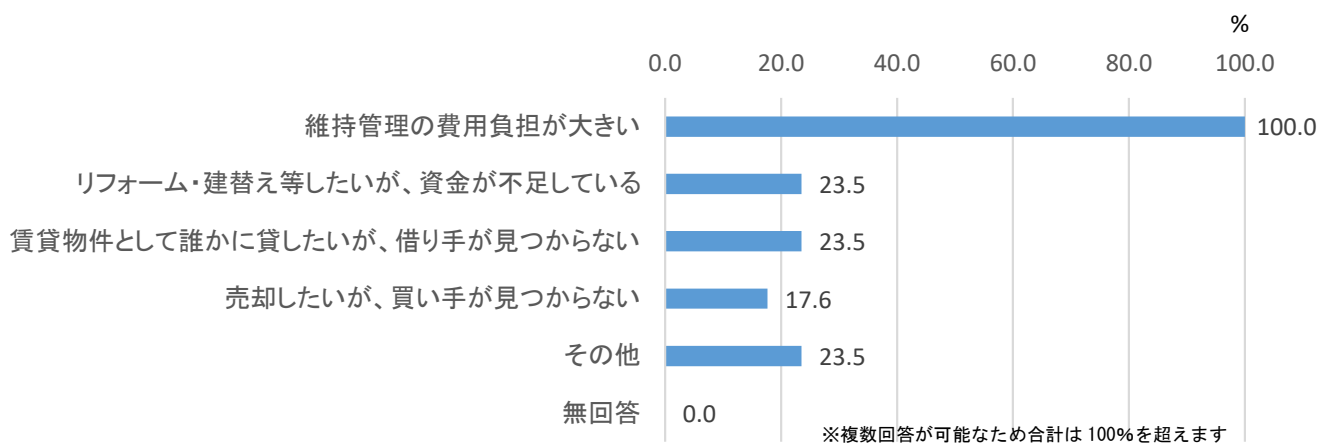
(3) 空き家の所有者に対して、今後の利活用について

● 今後も空き家として管理し、具体的な利活用策のない方が多い



(4) 所有する空き家の管理についての課題。

● 資金不足や、借り手・買い手が見つからないことが課題となっている



6 同居・近居の意向について

※本件は、同居されている家族の中で、「18歳以上の子」に、今後の居住場所の意向確認を行ったものです。（子が複数名同居している場合は、人数分の回答をいただいています）

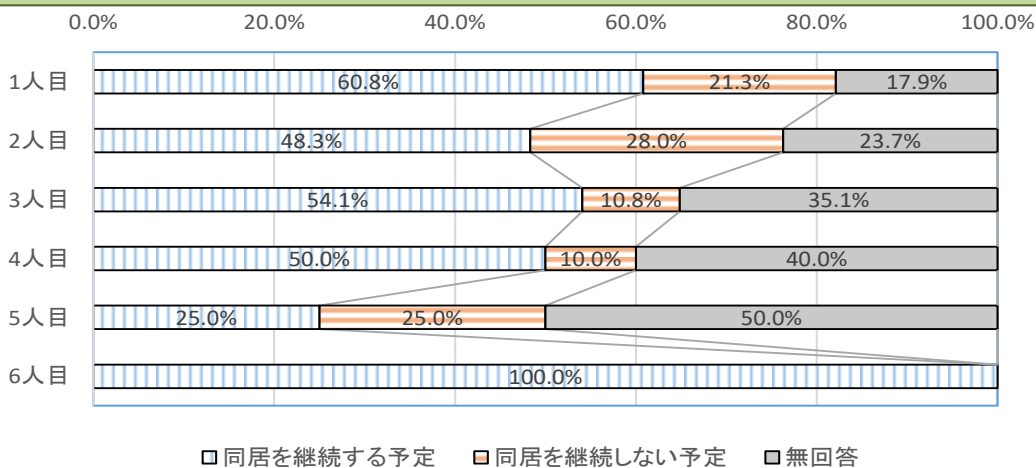
(1) 回答者の年齢構成

●35歳以上が過半数（51.3%）を占める

	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	無回答	計
18歳～19歳	28	14	5	2	2	0	9	60
20歳～24歳	50	18	6	0	0	0	4	78
25歳～29歳	26	6	3	0	1	0	3	39
30歳～34歳	24	10	2	1	0	1	1	39
35歳以上	154	66	18	6	1	0	0	245
無回答	9	4	3	1	0	0	0	17
合計	291	118	37	10	4	1	17	478

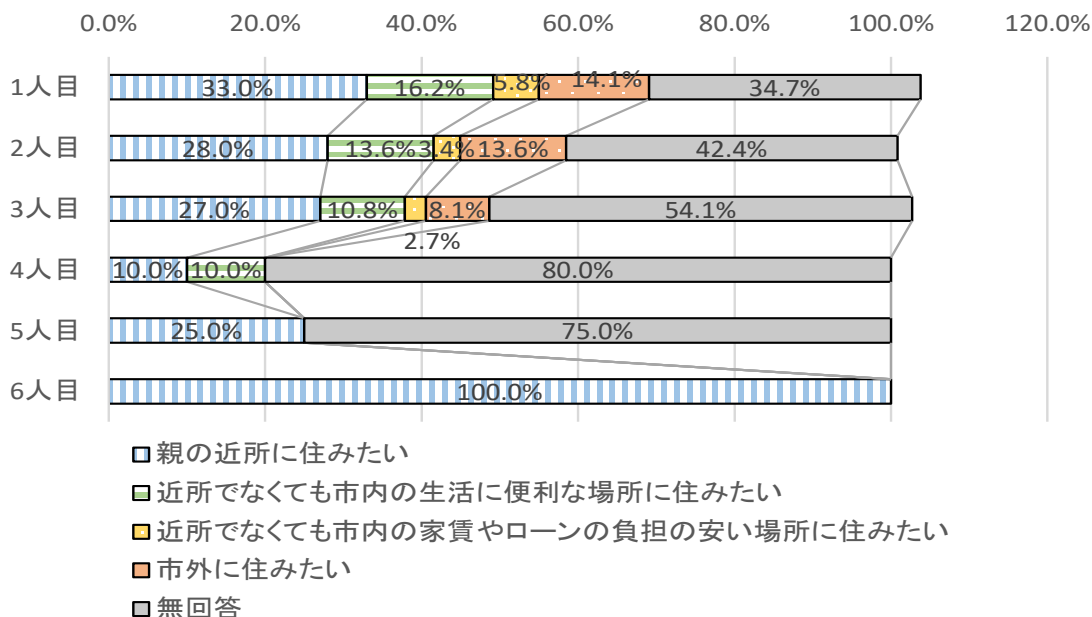
(2) 親との同居の継続について

●1人目（長男または長女）は、60.8%が今後も同居を継続する予定



(3) 親との近居について

●いずれにおいても2～3割は近居を希望



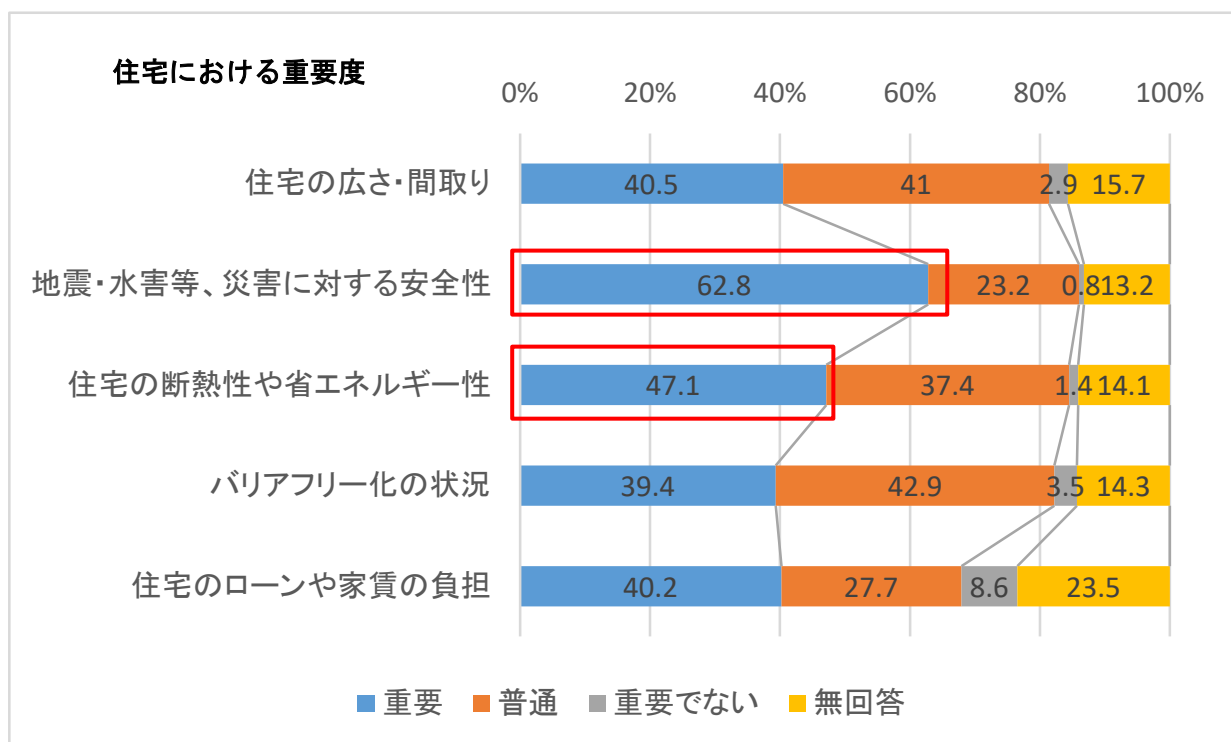
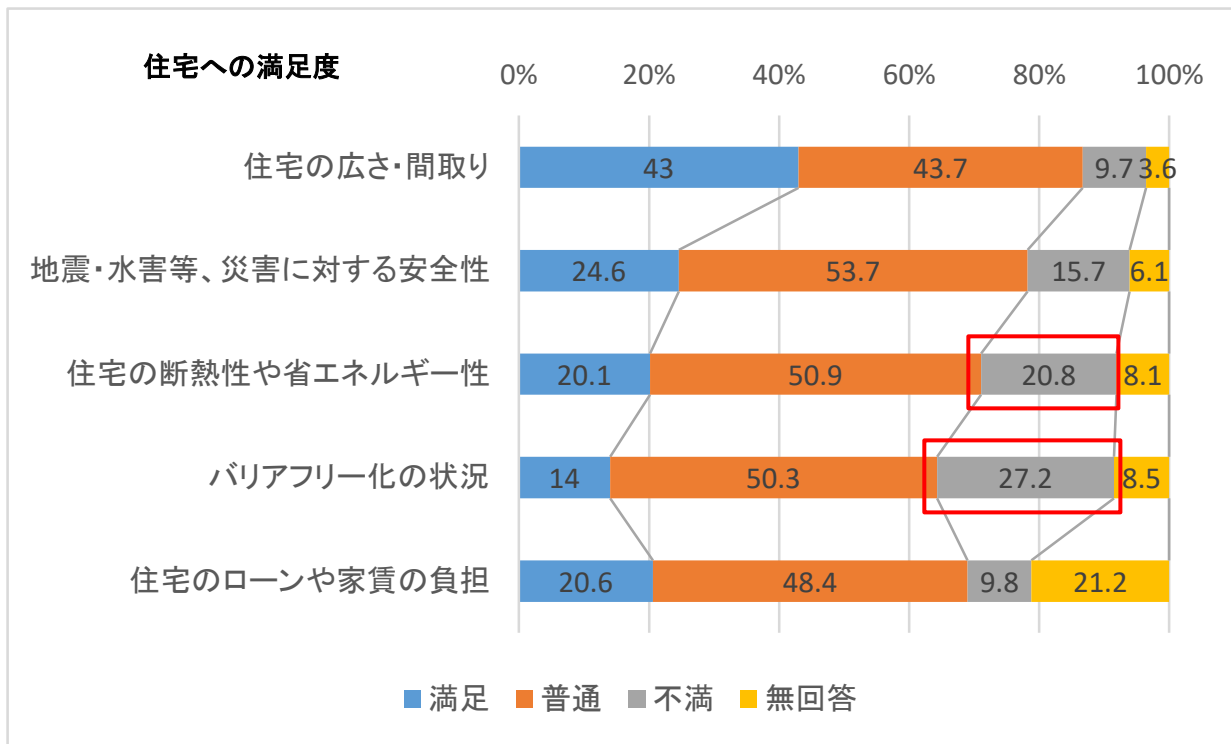
7 住宅に関する満足度・重要度について

(1) 市全体における住宅の満足度・重要度について

● 「住宅の省エネ性能」および「防災機能」が満足度が低く、且つ重要度が高い

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」が低くなりました。

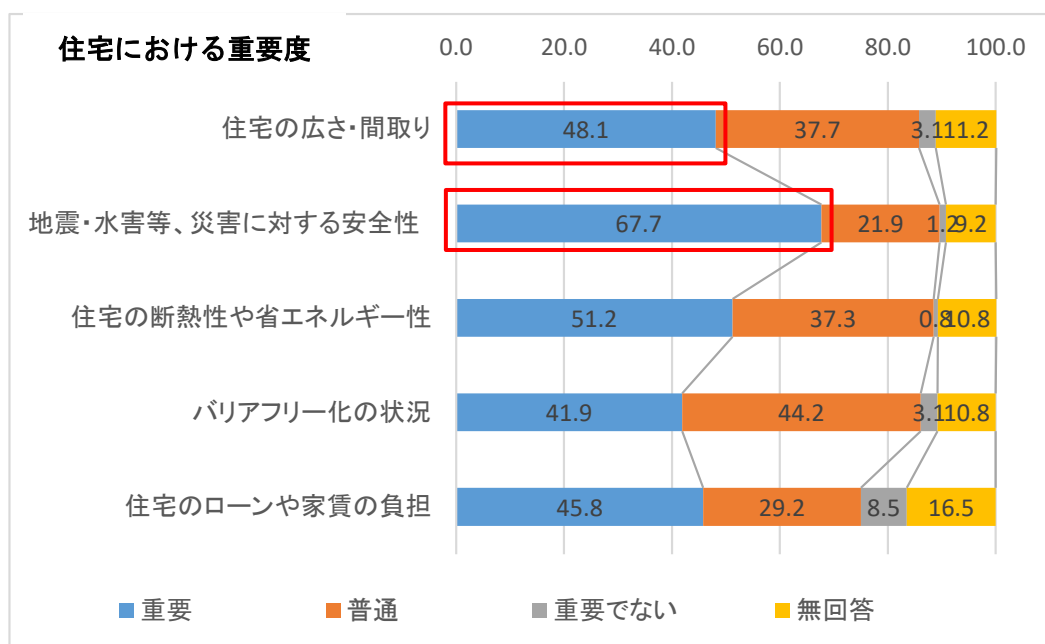
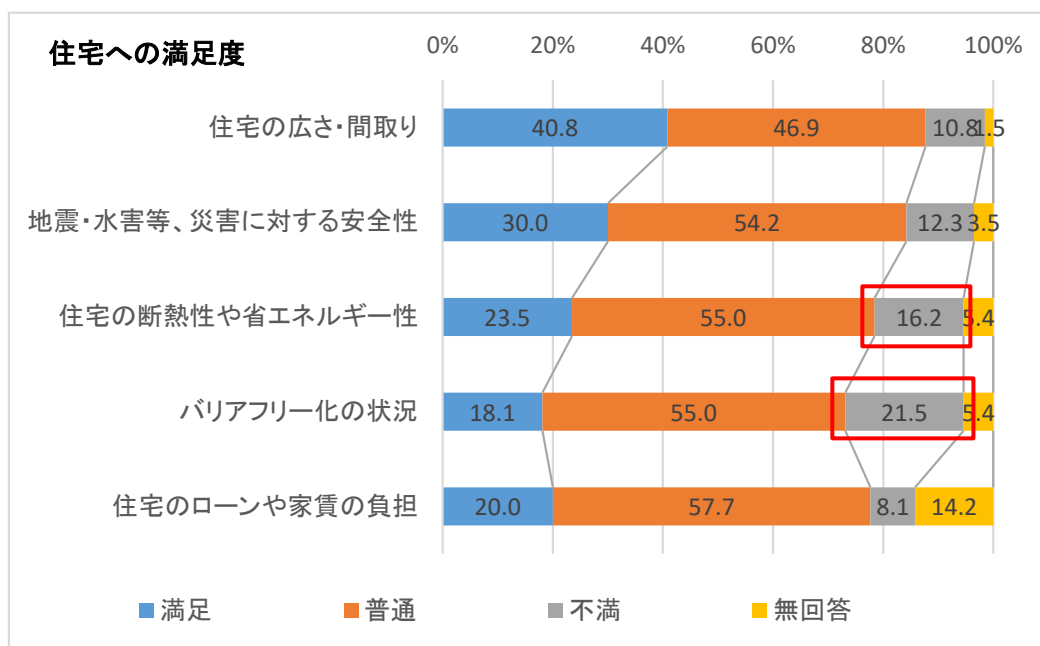
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」が高くなりました。



(2) 守山学区における住宅の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」、「地震・水害等災害に対する安全性」が低くなりました。

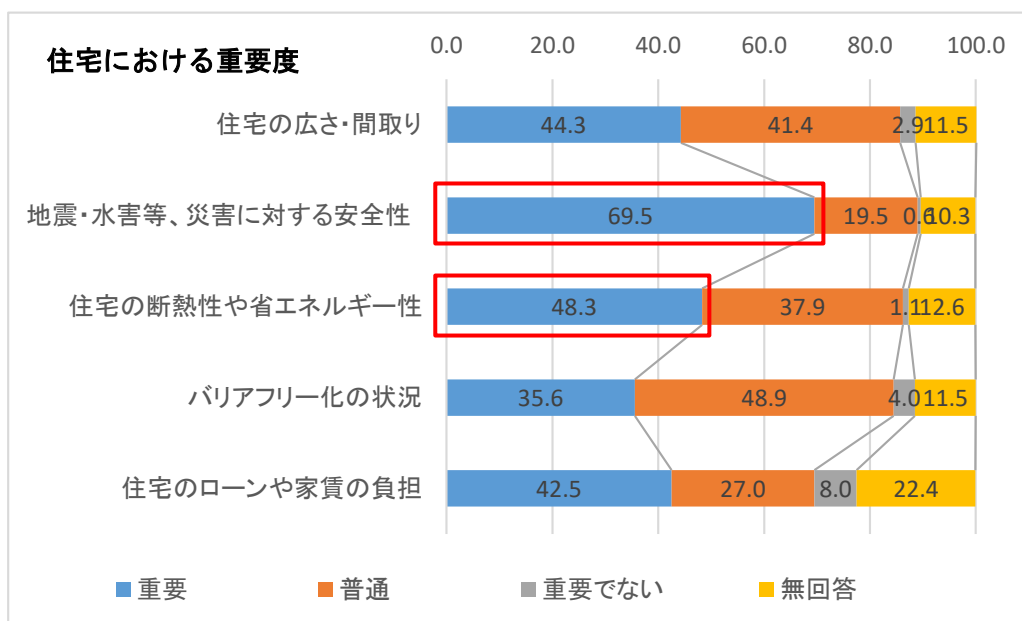
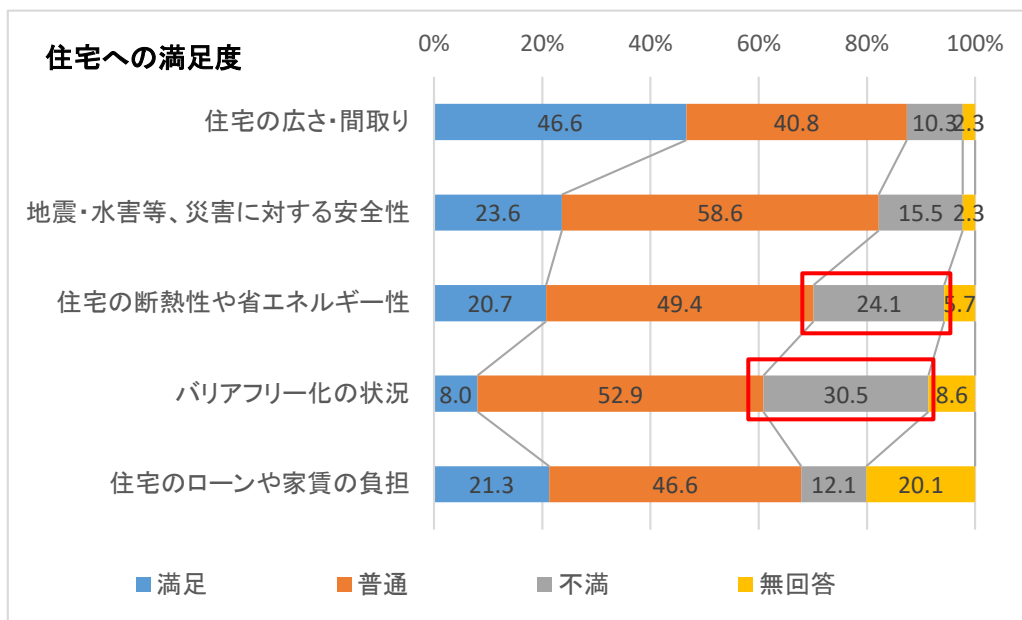
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」であり、次いで「住宅の広さ・間取り」の順となりました。



(3) 吉身学区における住宅の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」の順となりました。

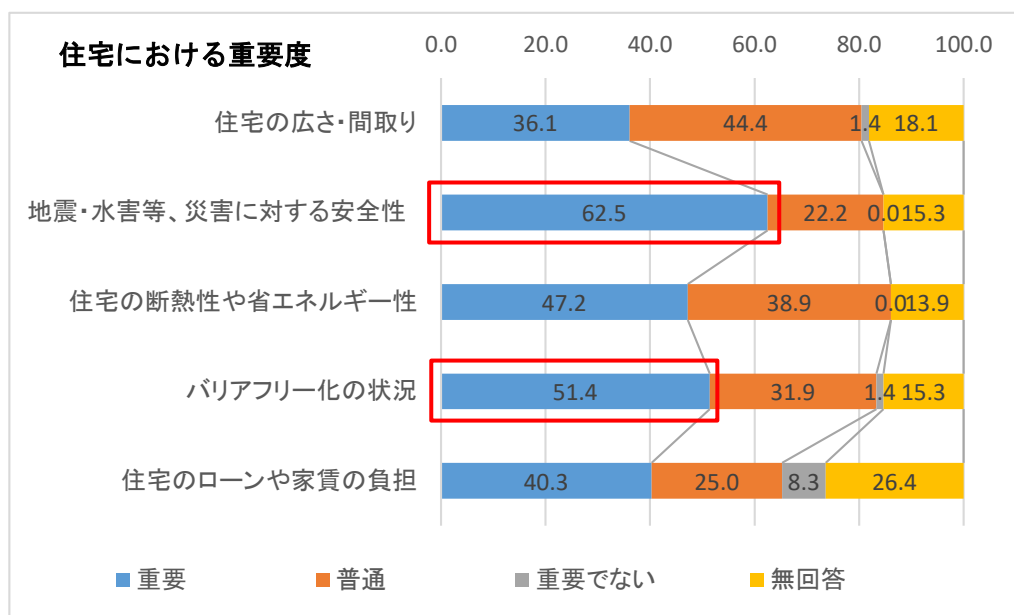
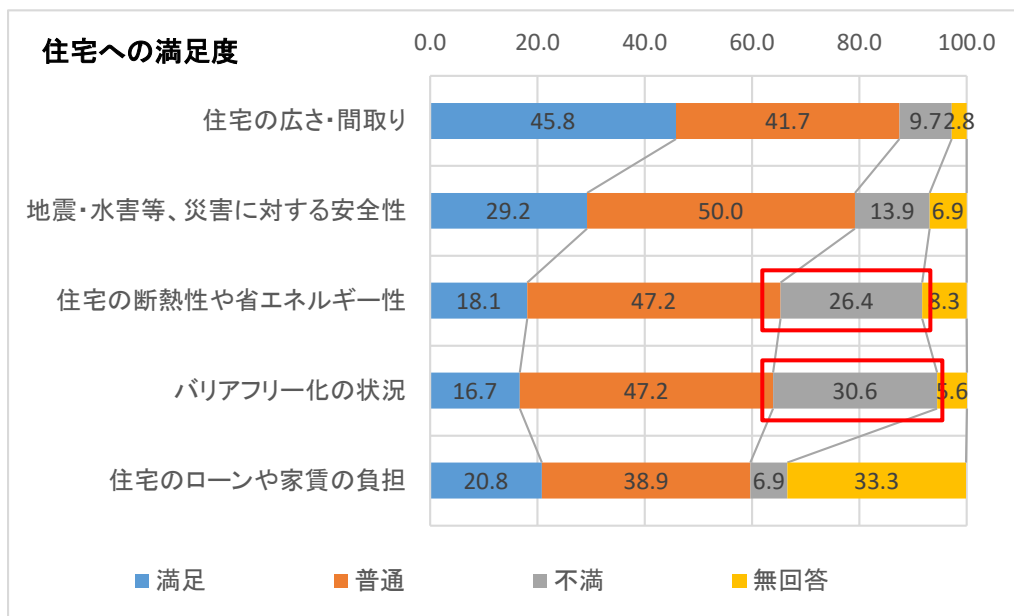
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」の順となりました。



(4) 小津学区における住宅の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」の順となりました。

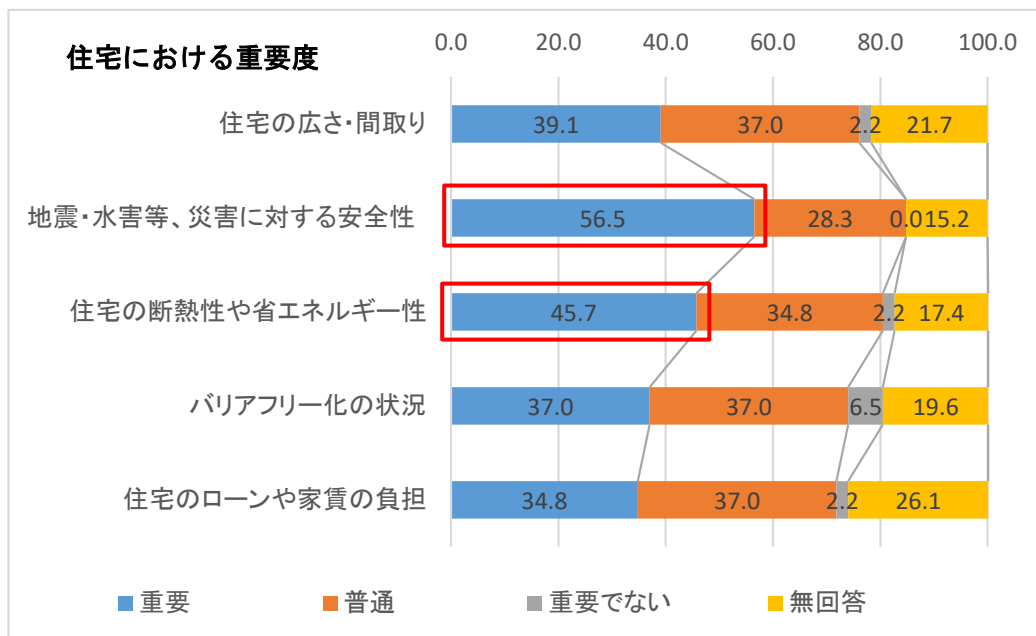
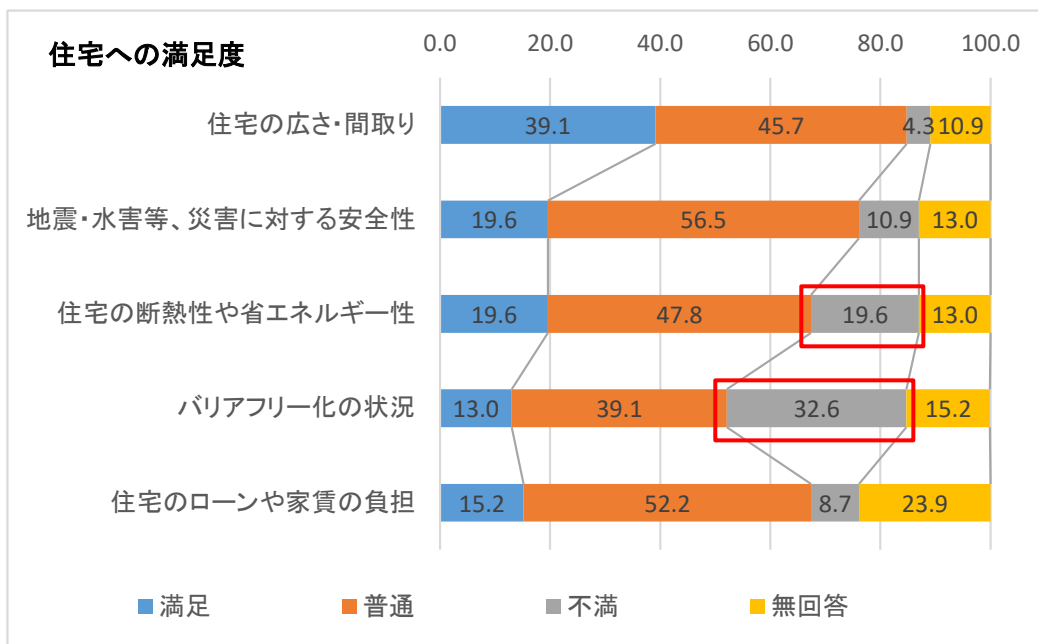
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」であり、次いで「バリアフリー化の状況」の順となりました。



(5) 玉津学区における住宅の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」、「住宅のローンや家賃の負担」の順となりました。

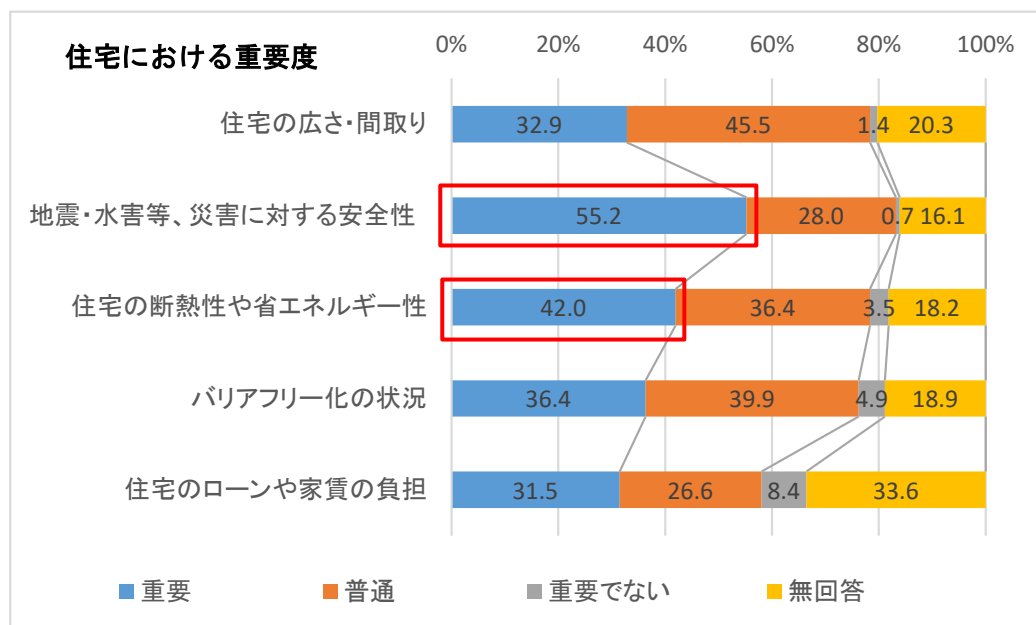
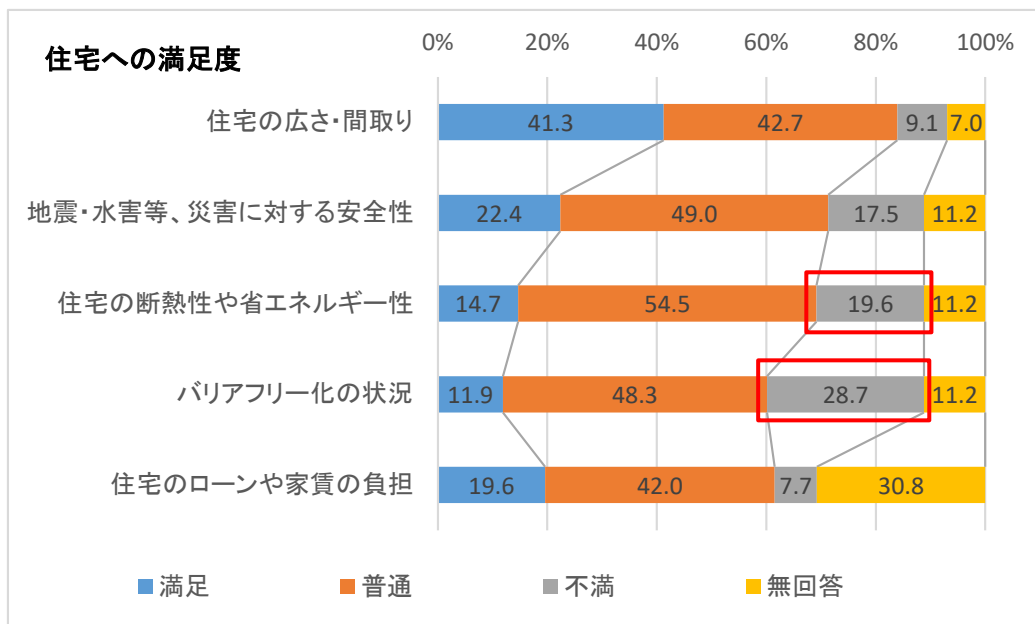
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」の順となりました。



(6) 河西学区における住宅の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」、「住宅のローンや家賃の負担」の順となりました。

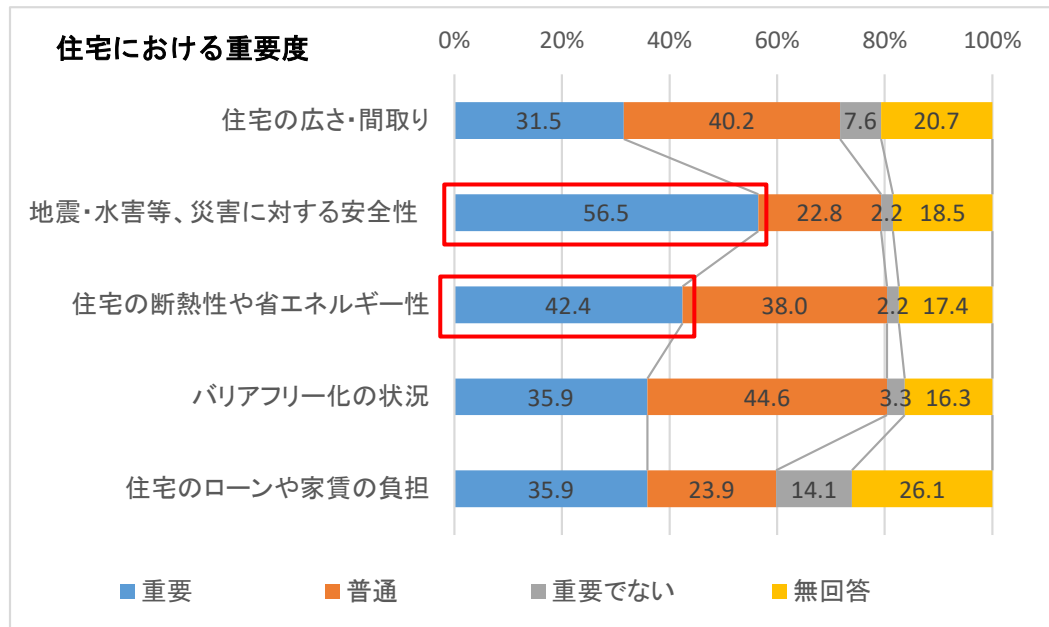
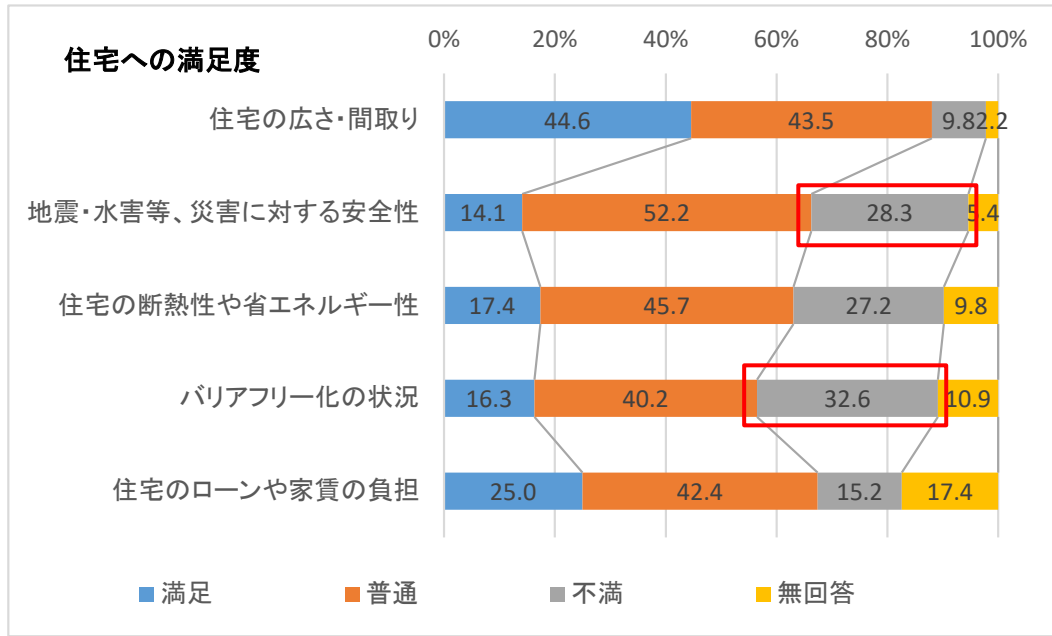
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」であり、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」の順となりました。



(7) 速野学区における住宅の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」次いで「地震・水害等災害に対する安全性」の順となりました。

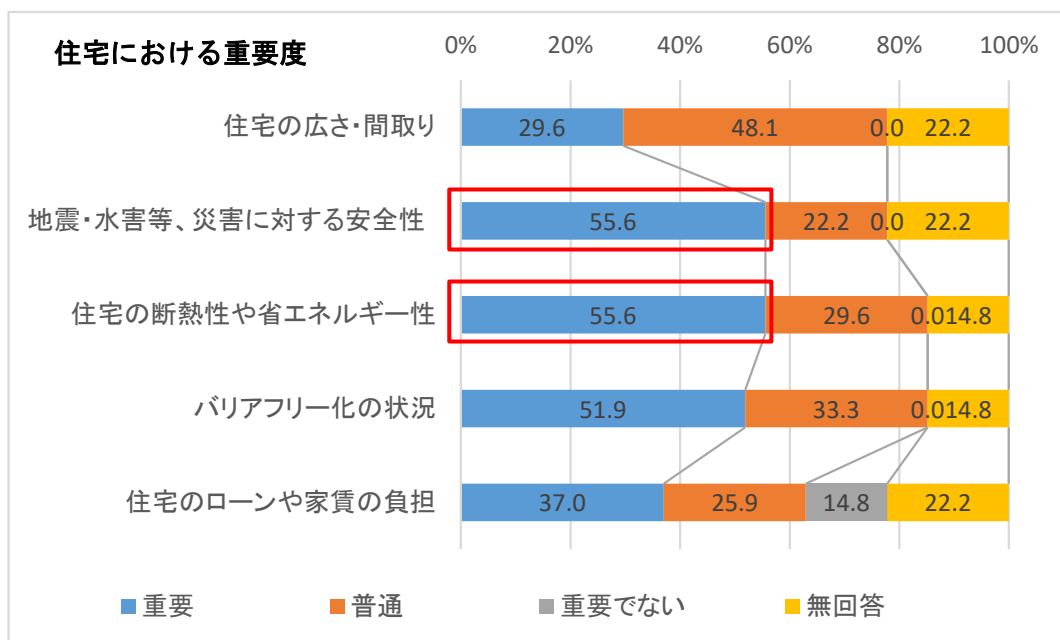
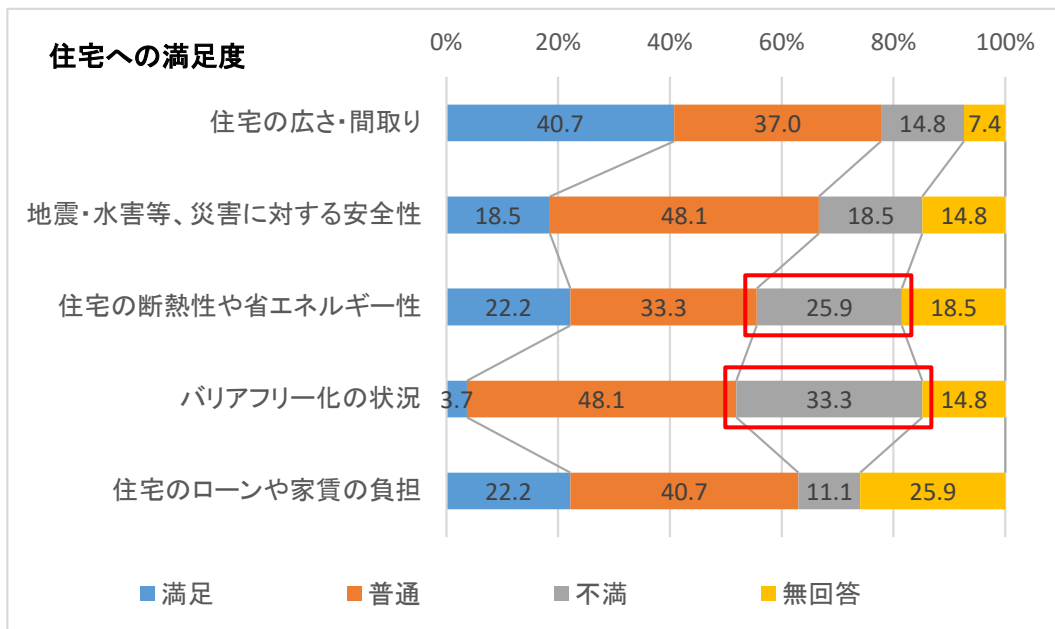
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」、次いで「住宅の断熱性や省エネルギー性」の順となりました。



(8) 中洲学区における住宅の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「バリアフリー化の状況」次いで、「住宅の断熱性や省エネルギー性」、「地震・水害等災害に対する安全性」の順となりました。

最も重要度が高いのは「住宅の断熱性や省エネルギー性」次いで、「地震・水害等災害に対する安全性」の順となりました。



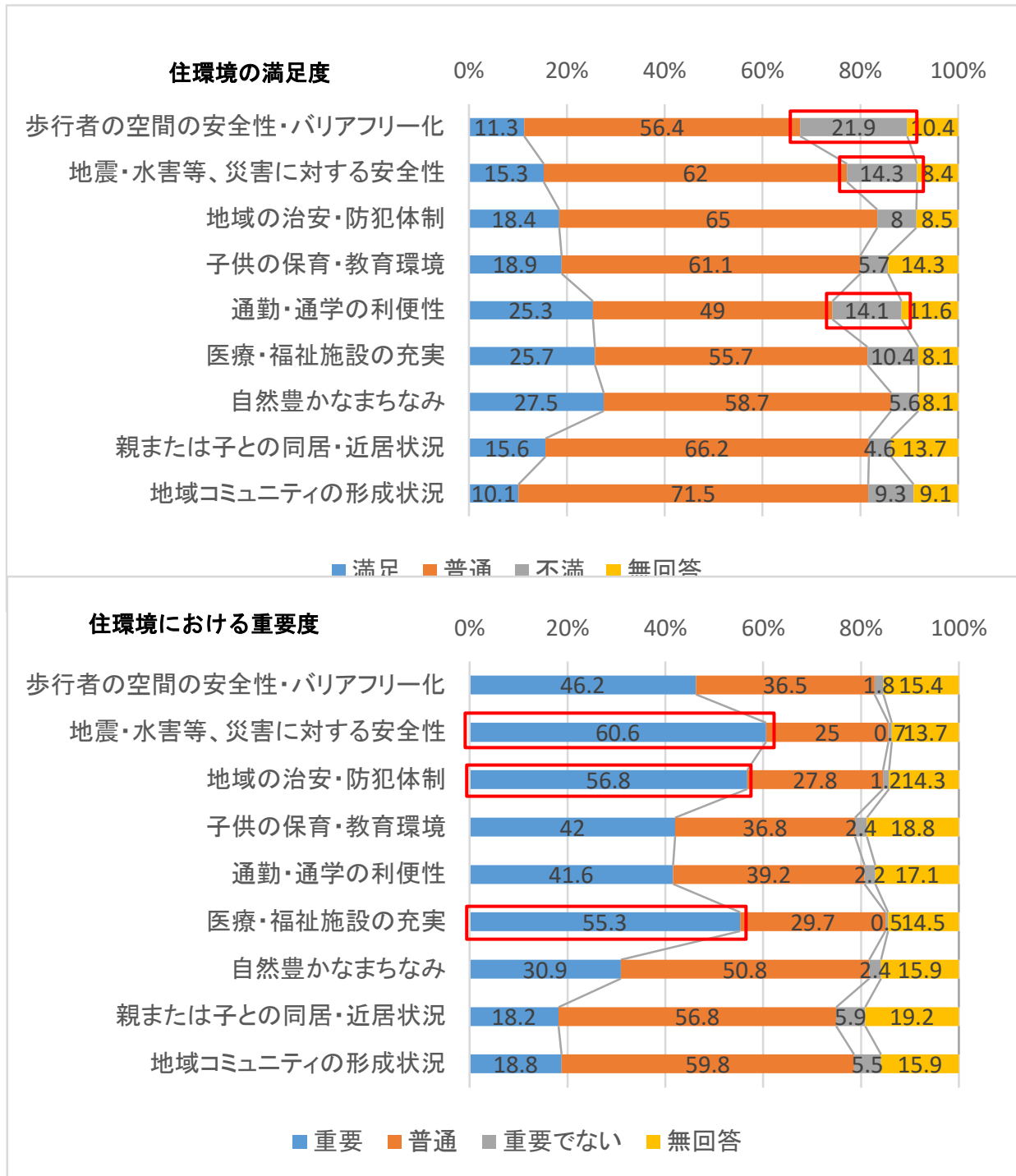
8 住環境に関する満足度・重要度について

(1) 市全体における住環境の満足度・重要度について

●「地震・水害・災害に対する安全性」が満足度が低く、且つ重要度が高い

最も満足度が低いのは「歩行者の空間の安全性・バリアフリー化」であり、次いで「地震・水害等、災害に対する安全性」、「通勤・通学の利便性」の順となりました。

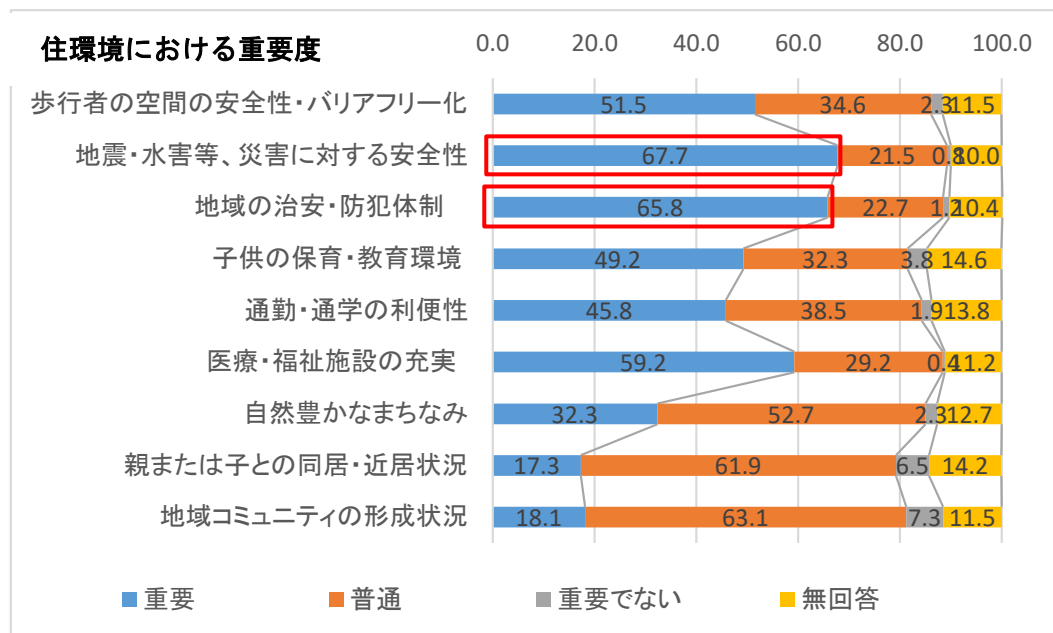
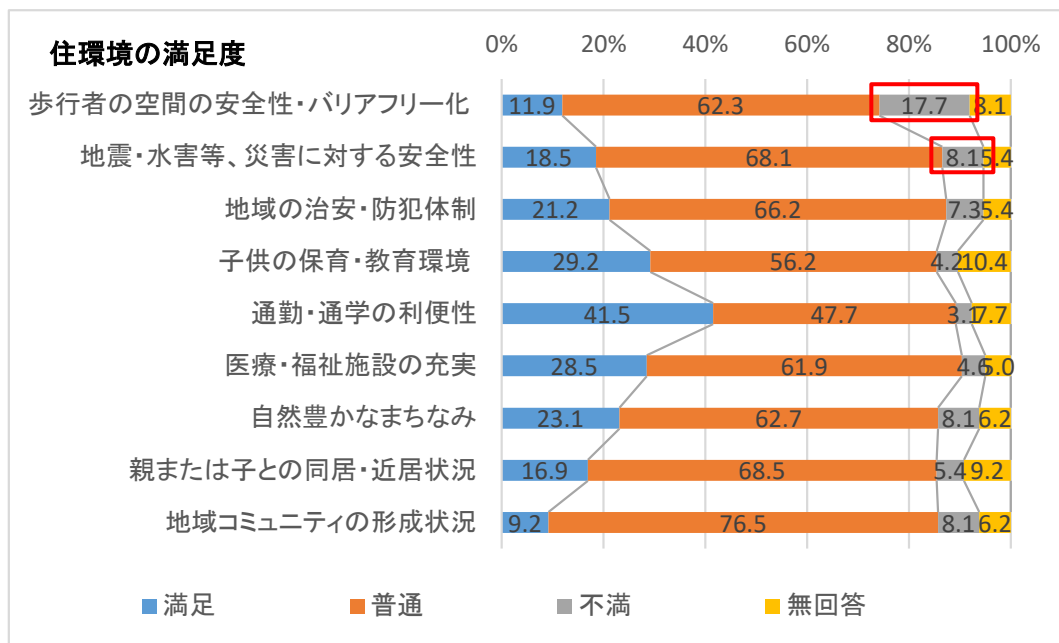
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」であり、次いで「地域の治安・防犯体制」、「医療・福祉施設の充実」の順となりました。



(2) 守山学区における住環境の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「歩行者の空間の安全性・バリアフリー化」次いで、「地震・水害等災害に対する安全性」の順となりました。

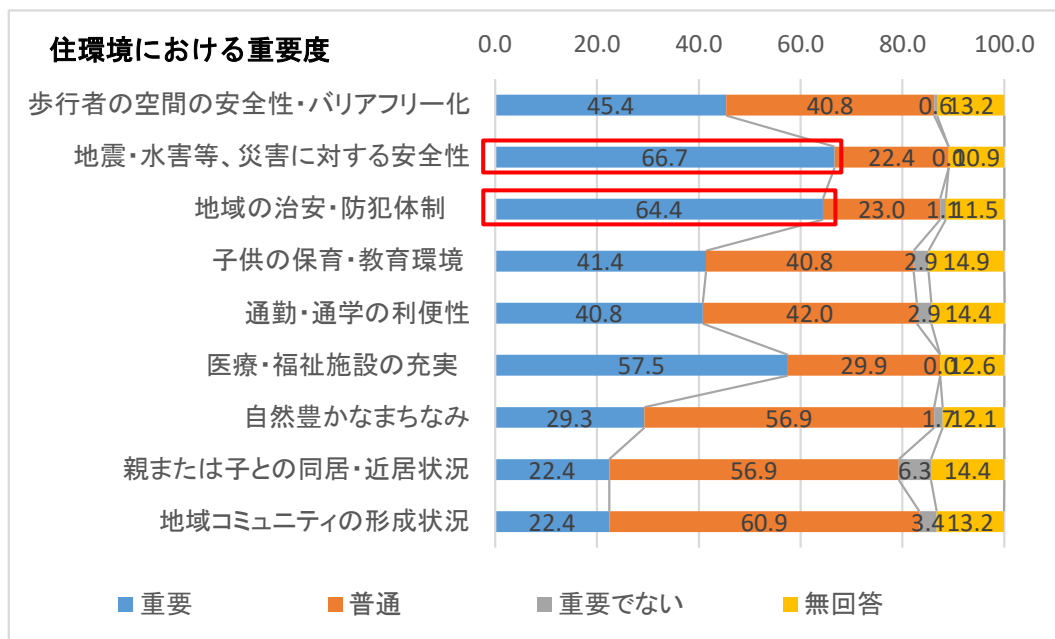
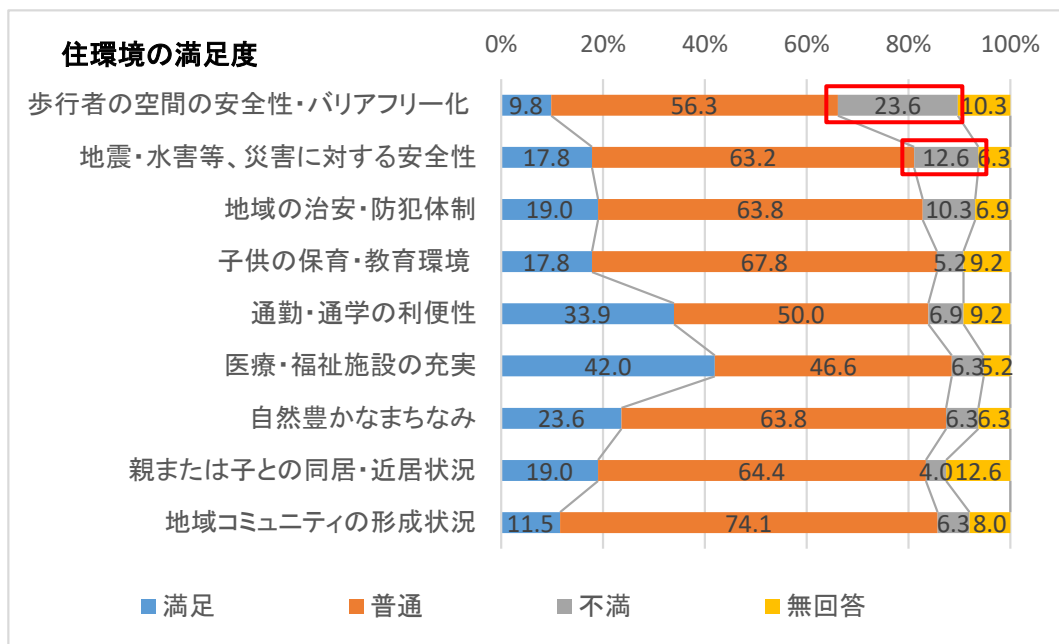
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」、次いで「地域の治安・防犯体制」「医療・福祉施設の充実」、の順となりました。



(3) 吉身学区における住環境の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「歩行者の空間の安全性・バリアフリー化」次いで、「地震・水害等災害に対する安全性」の順となりました。

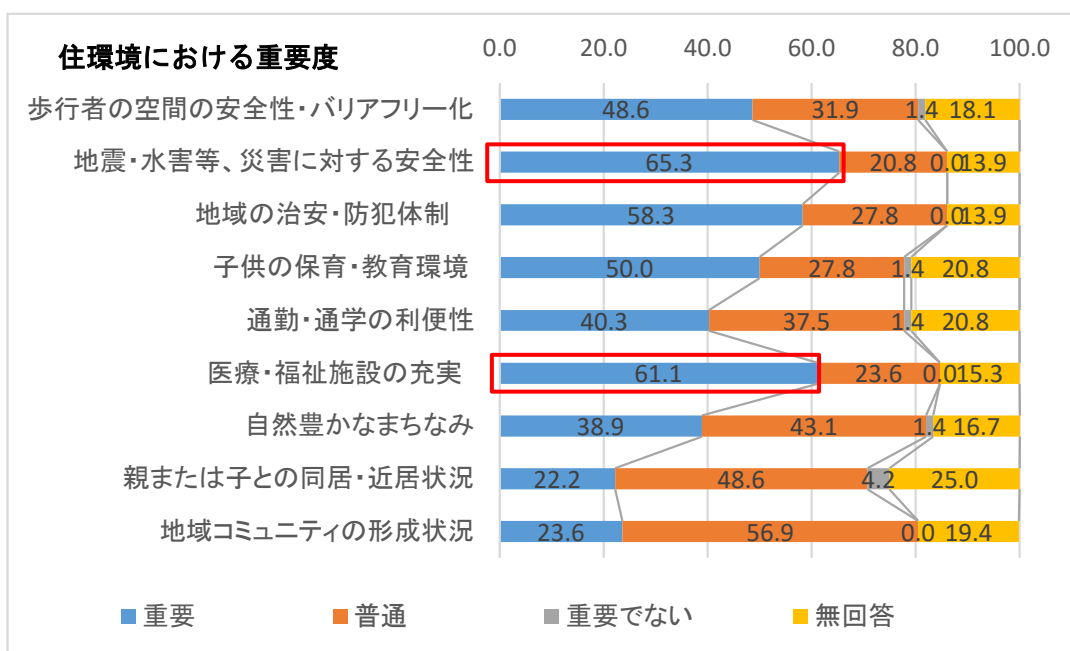
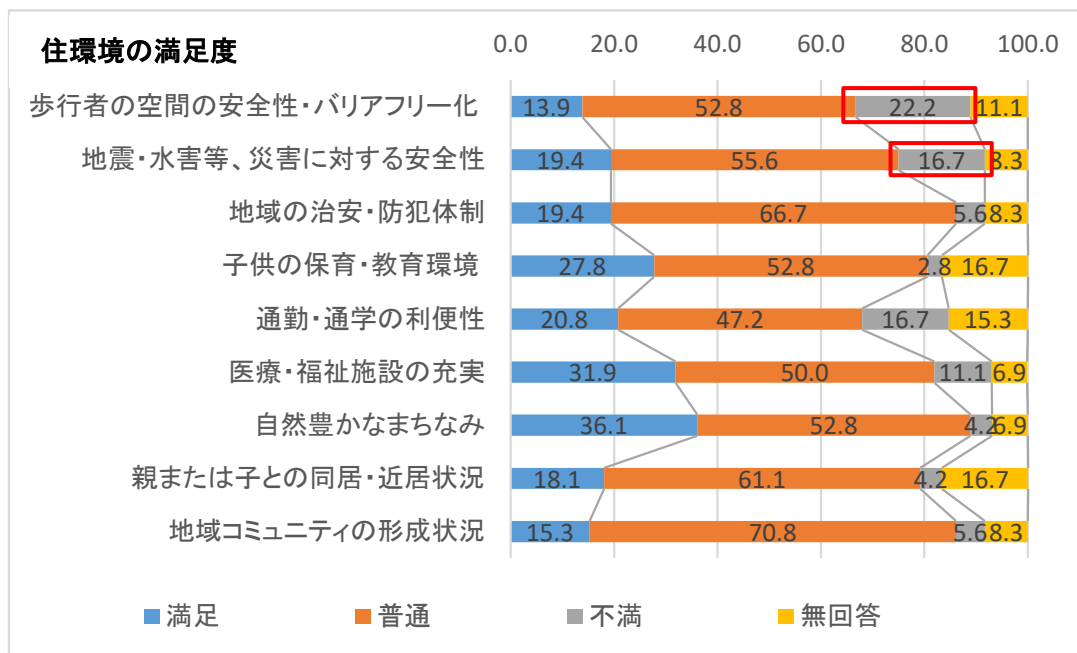
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」、次いで「地域の治安・防犯体制」「医療・福祉施設の充実」の順となりました。



(4) 小津学区における住環境の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「歩行者の空間の安全性・バリアフリー化」次いで、「地震・水害等災害に対する安全性」の順となりました。

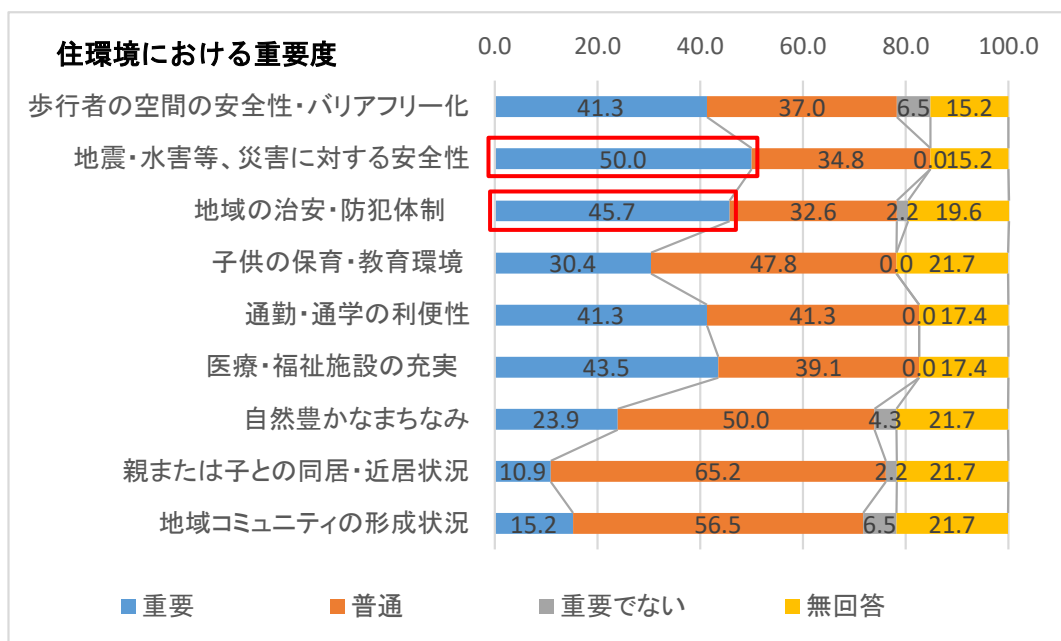
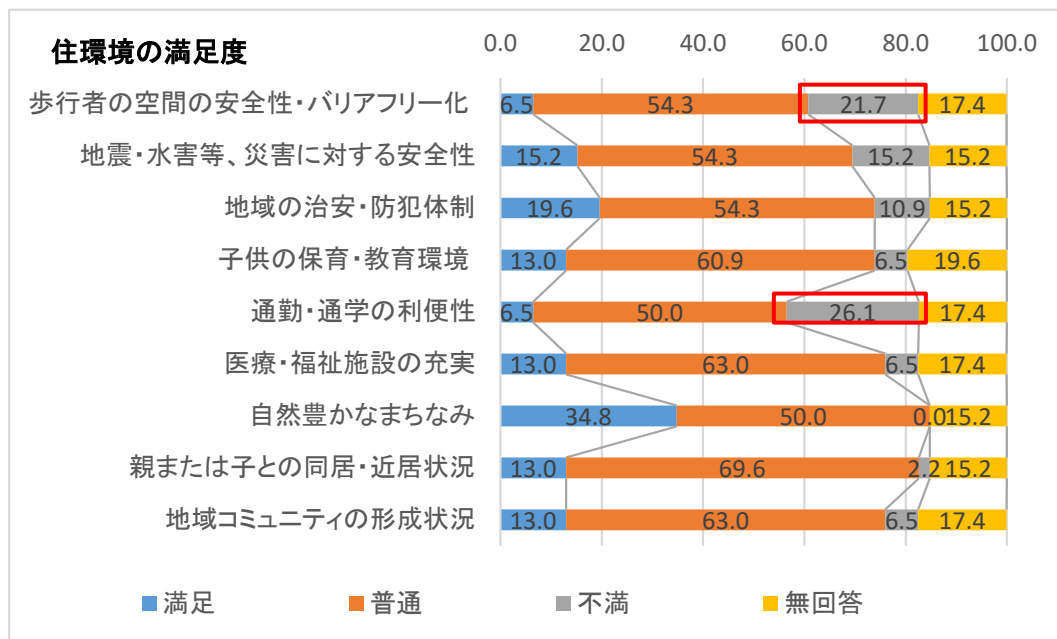
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」、次いで「医療・福祉施設の充実」の順となりました。



(5) 玉津学区における住環境の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「通勤・通学の利便性」次いで、「歩行者の空間の安全性・バリアフリー化」となりました。

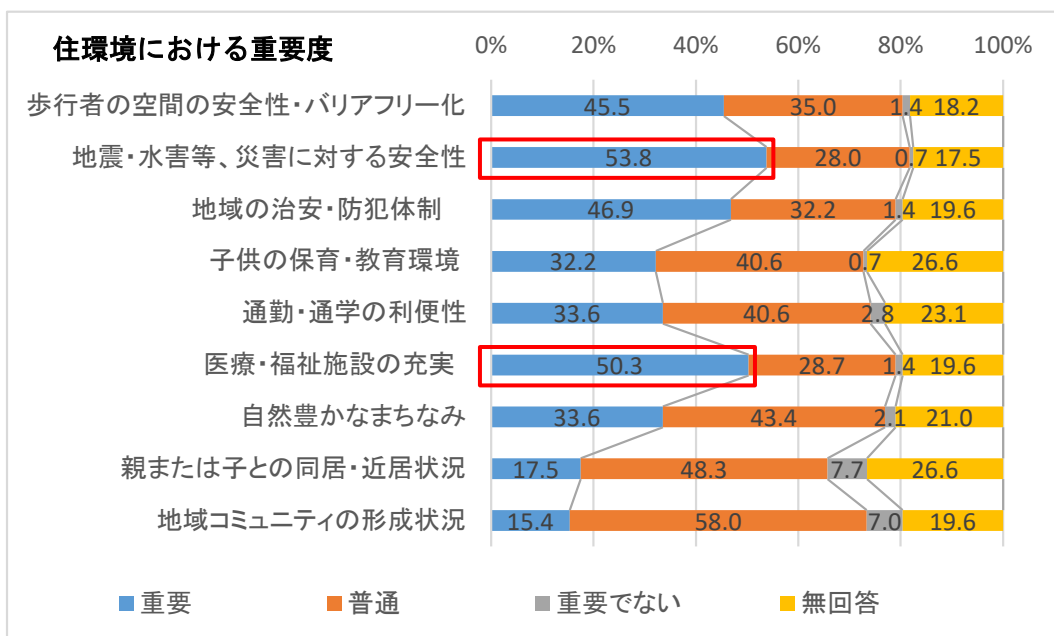
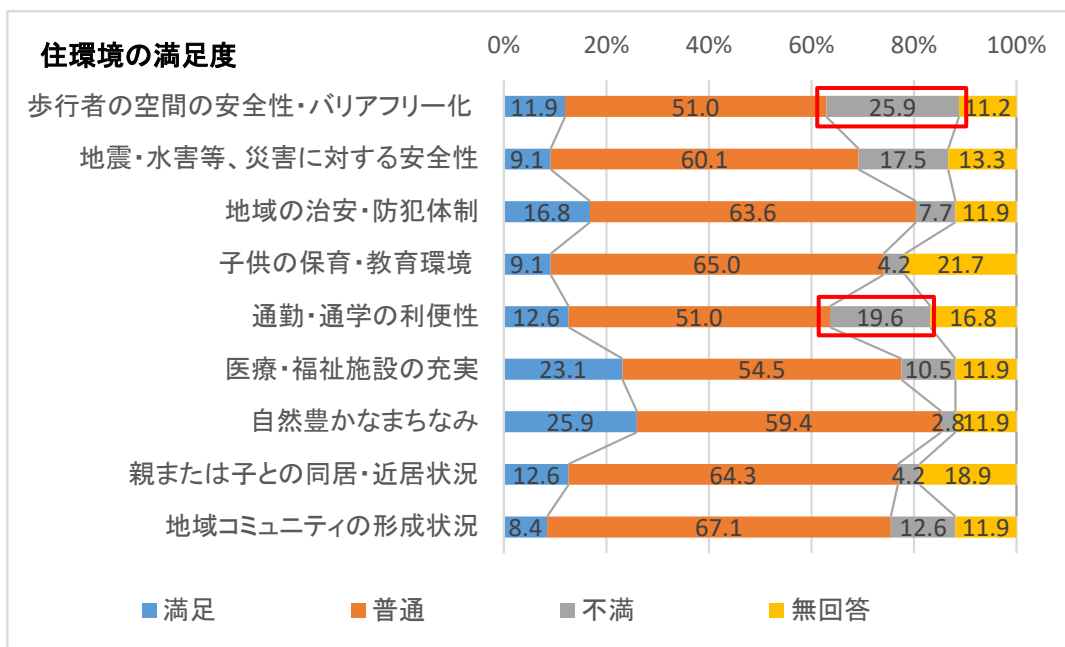
最も重要度が高いのは「地震・水害等災害に対する安全性」、次いで「地域の治安・防犯体制」の順となりました。



(6) 河西学区における住環境の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「歩行者の空間の安全性・バリアフリー化」、次いで「通勤・通学の利便性」の順となりました。

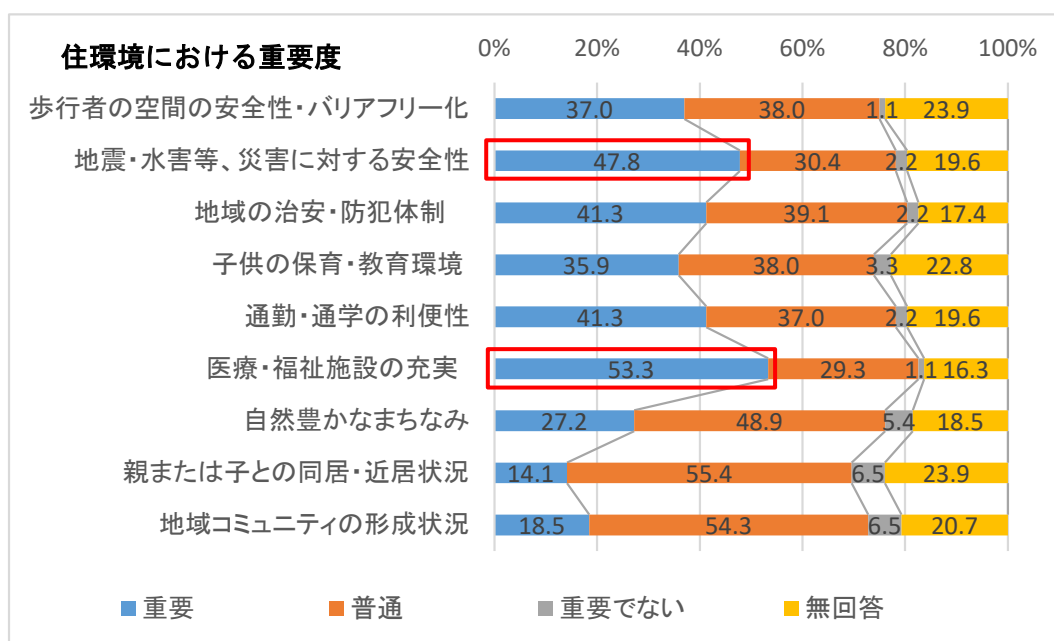
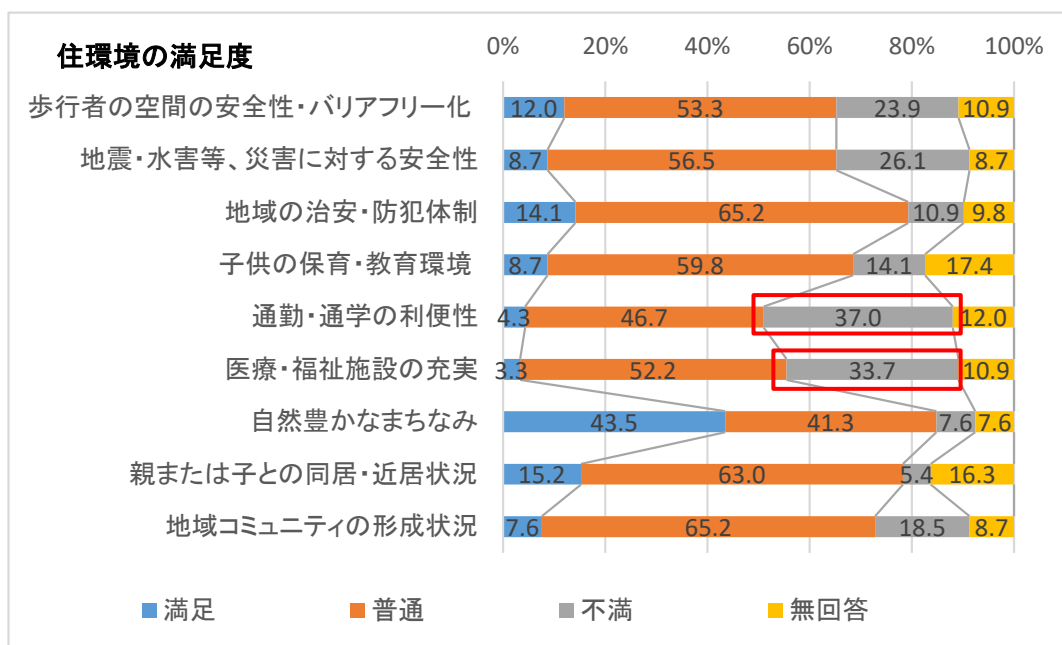
最も重要度が高いのは「地震・水害等、災害に対する安全性」、次いで「医療・福祉施設の充実」の順となりました。



(7) 速野学区における住環境の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「通勤・通学の利便性」次いで、「医療・福祉施設の充実」の順となりました。

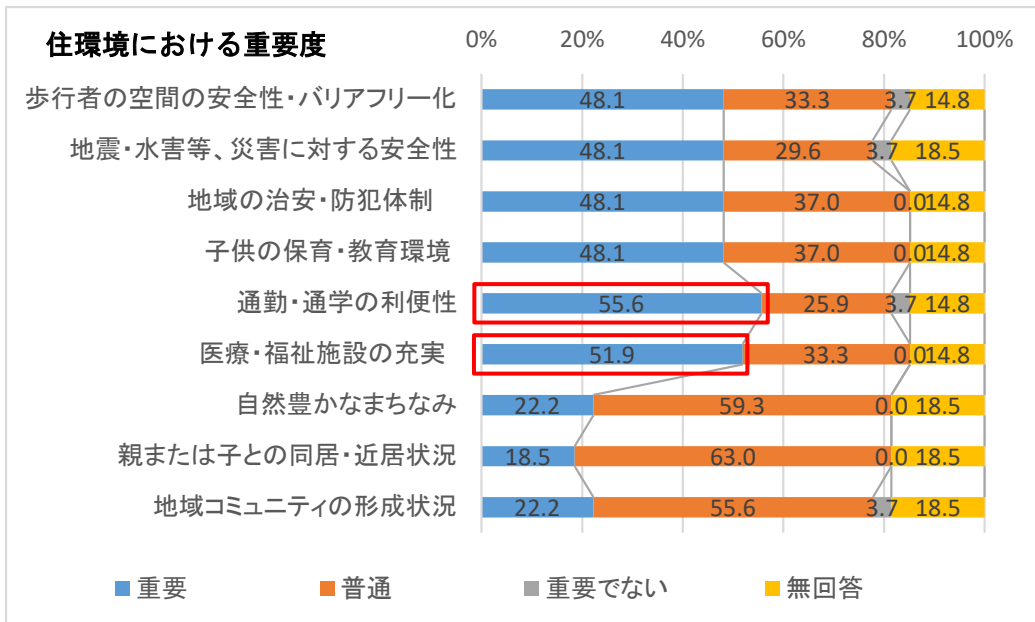
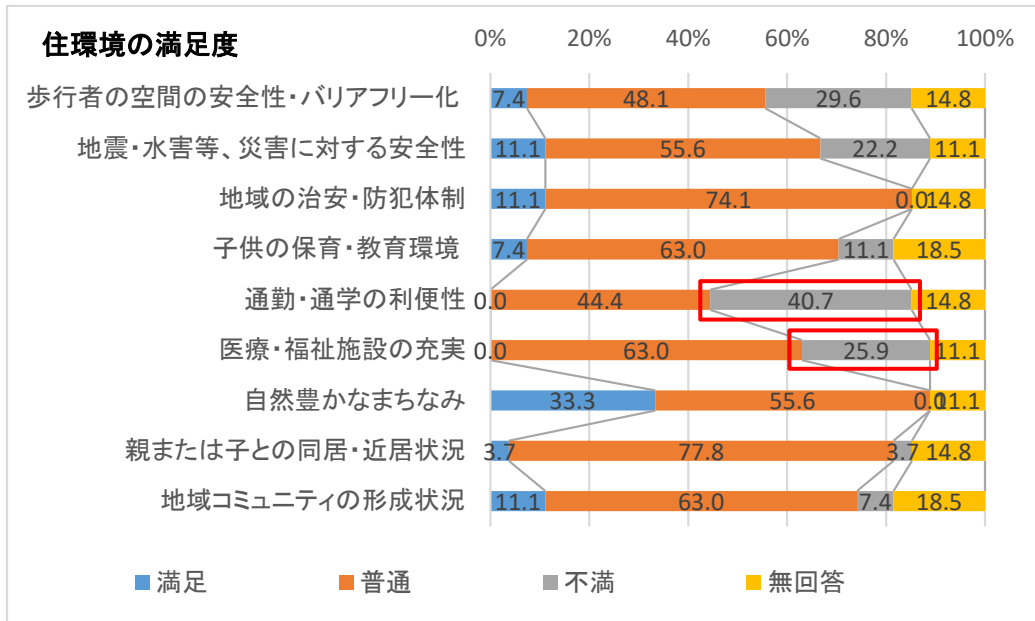
最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」、次いで「地震・水害等、災害に対する安全性」の順となりました。



(8) 中洲学区における住環境の満足度・重要度について

最も満足度が低いのは「通勤・通学の利便性」次いで、「医療・福祉施設の充実」の順となりました。

最も重要度が高いのは「通勤・通学の利便性」次いで、「医療・福祉施設の充実」の順となりました。

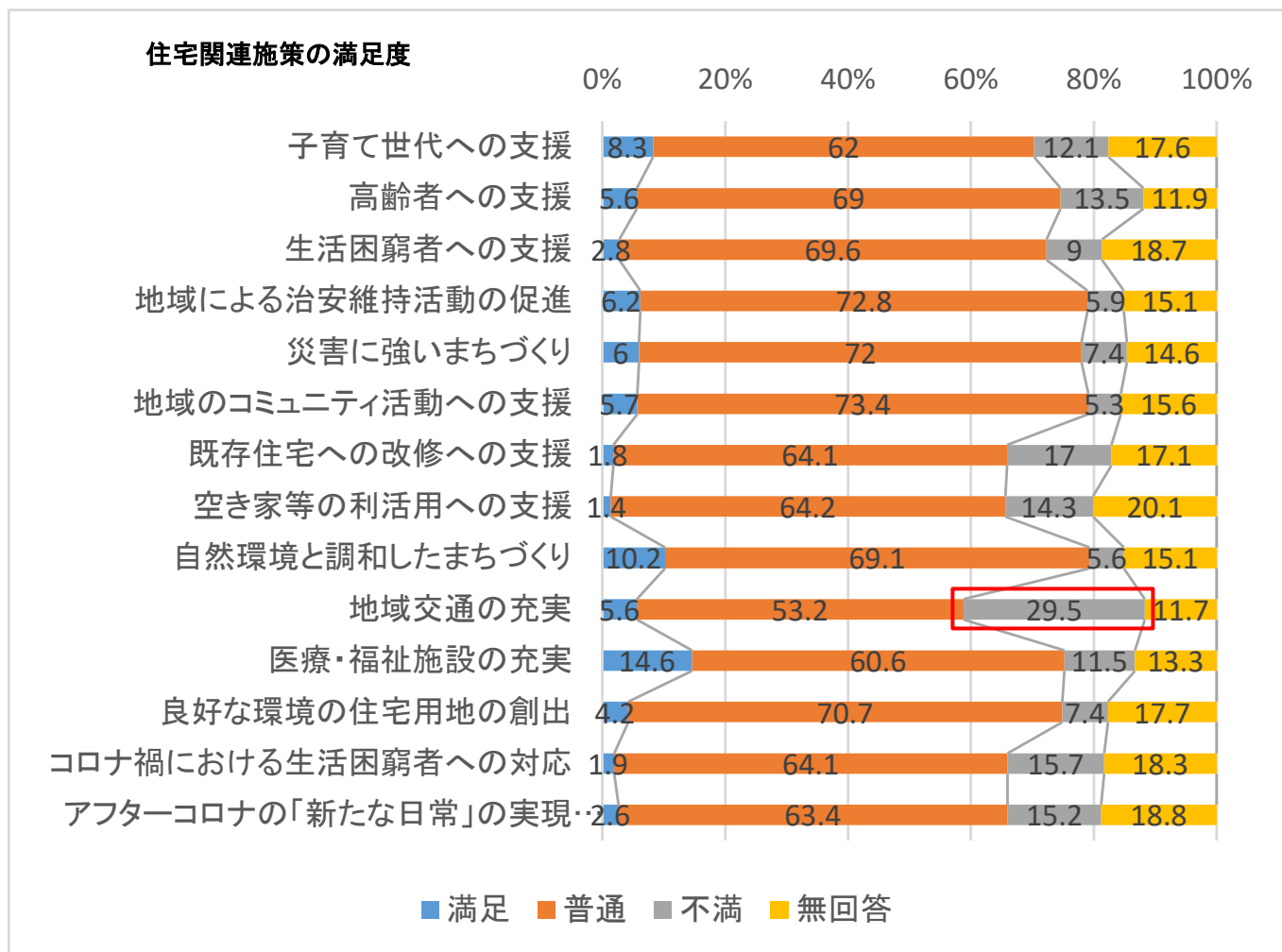


9 住宅関連施策に関する満足度・重要度について

(1) 守山市全体における住宅関連施策に関する満足度

●最も満足度の低い項目は「地域交通の充実」の項目

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「既存住宅への改修への支援」「コロナ禍における生活困窮者への対応」、「空き家等の利活用への支援」の順となりました。

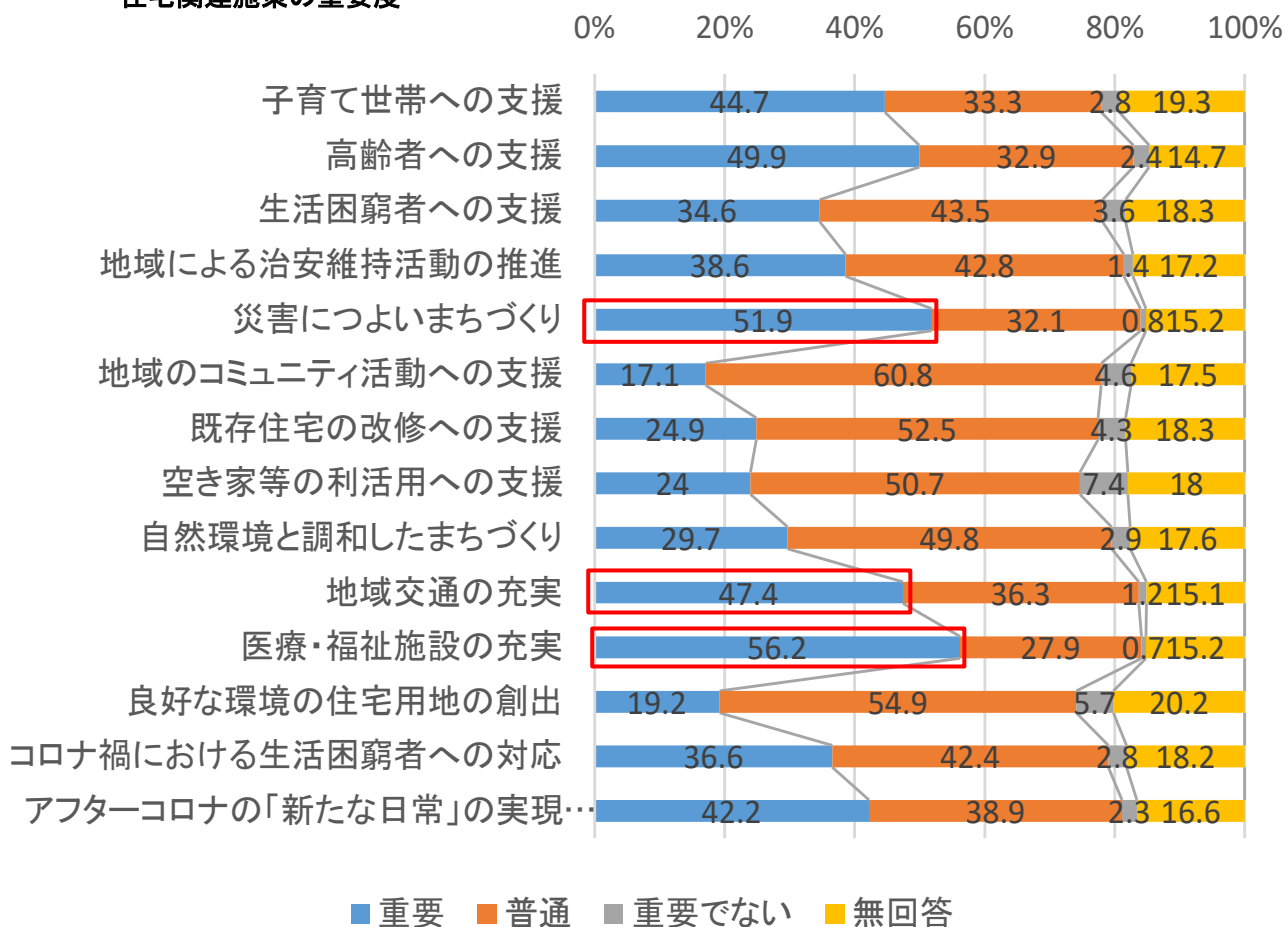


(2) 守山市全体における住宅関連施策に関する重要度

●最も重要度の高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目

最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目であり、次いで「災害に強いまちづくり」、「地域交通の充実」の順となりました。

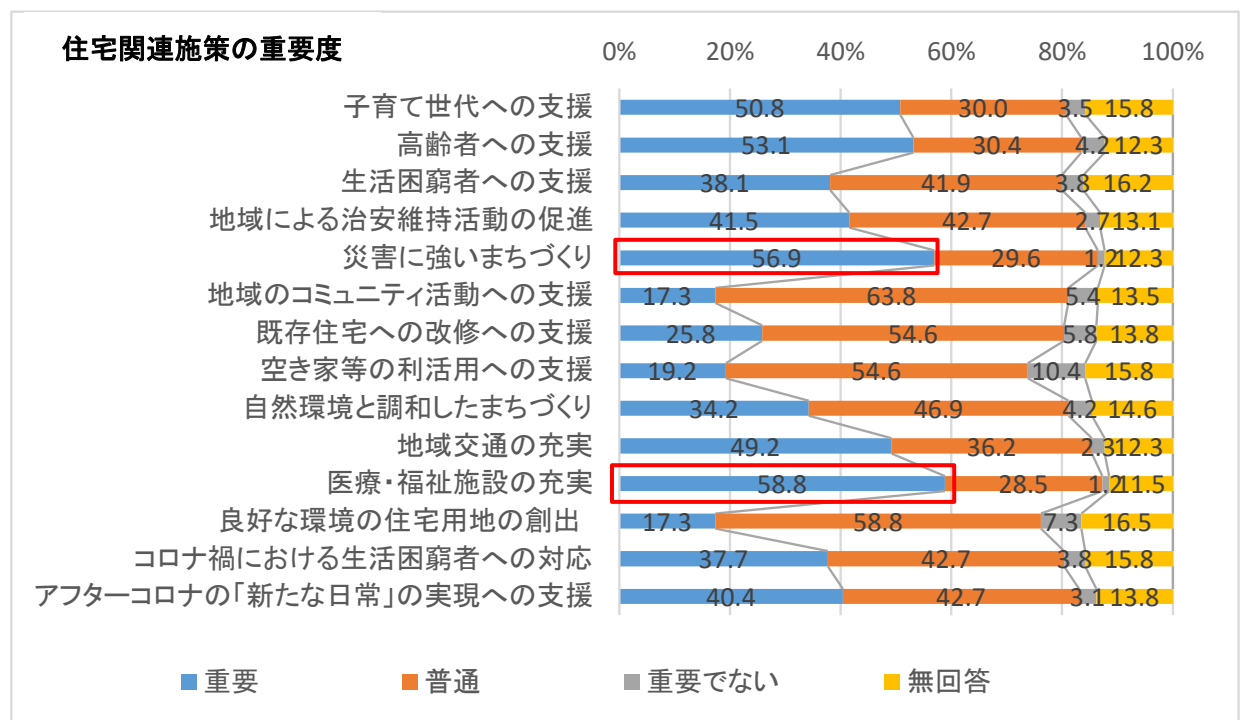
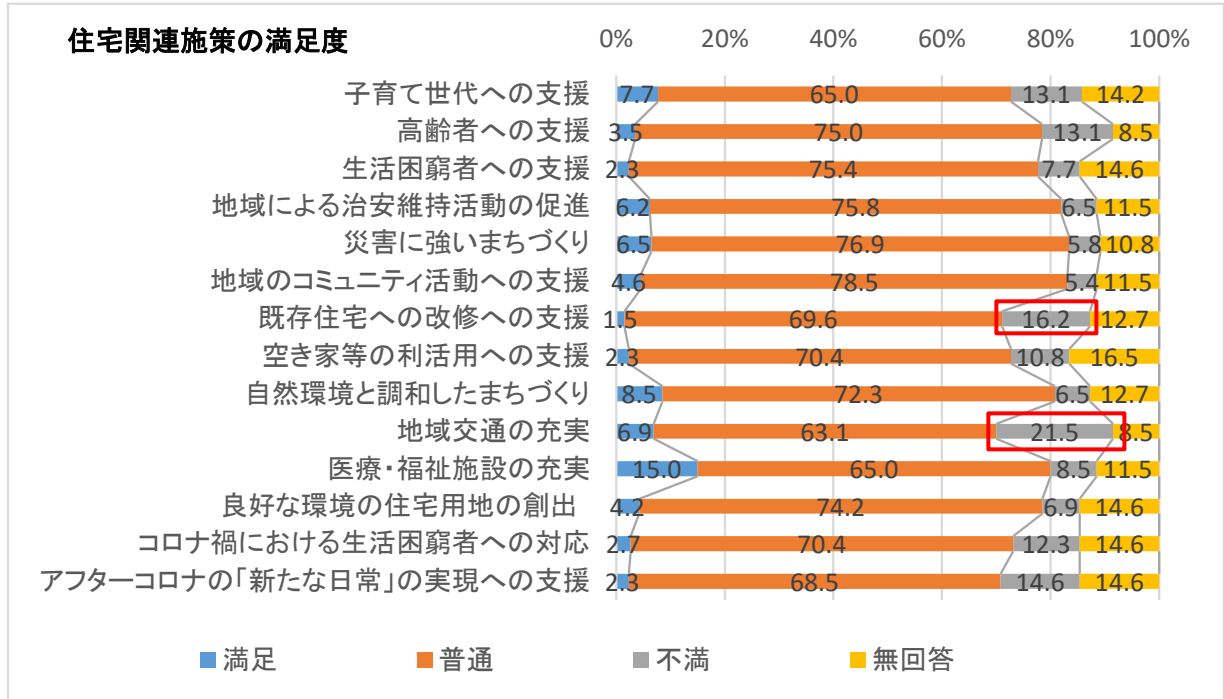
住宅関連施策の重要度



(3) 守山学区における住宅関連施策に関する満足度・重要度

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「既存住宅への改修への支援」の順となりました。

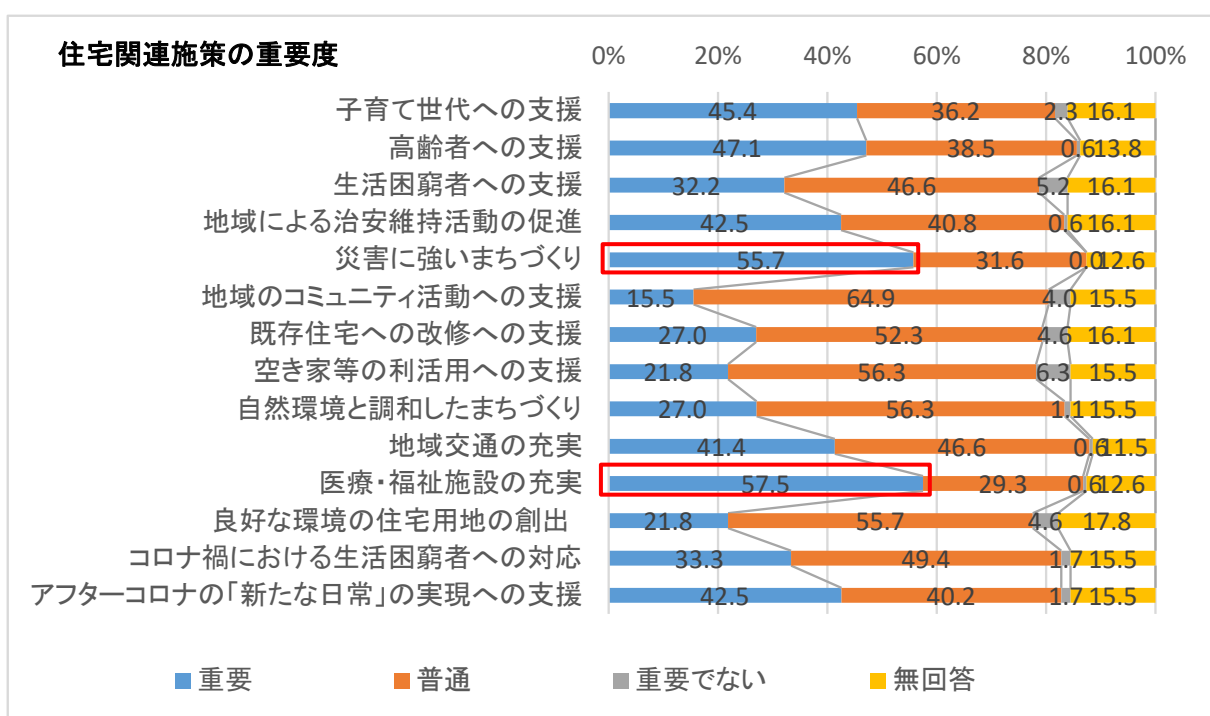
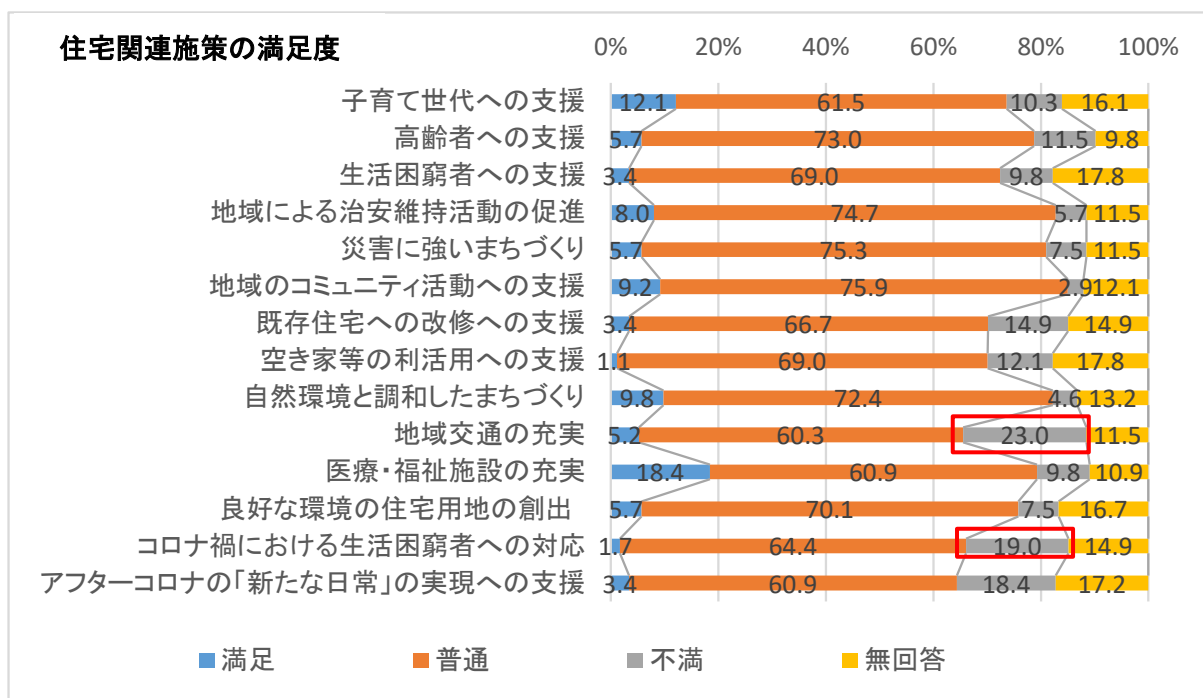
最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目であり、次いで「災害に強いまちづくり」の順となりました。



(4) 吉身学区における住宅関連施策に関する満足度・重要度

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「コロナ禍における生活困窮者への対応」の順となりました。

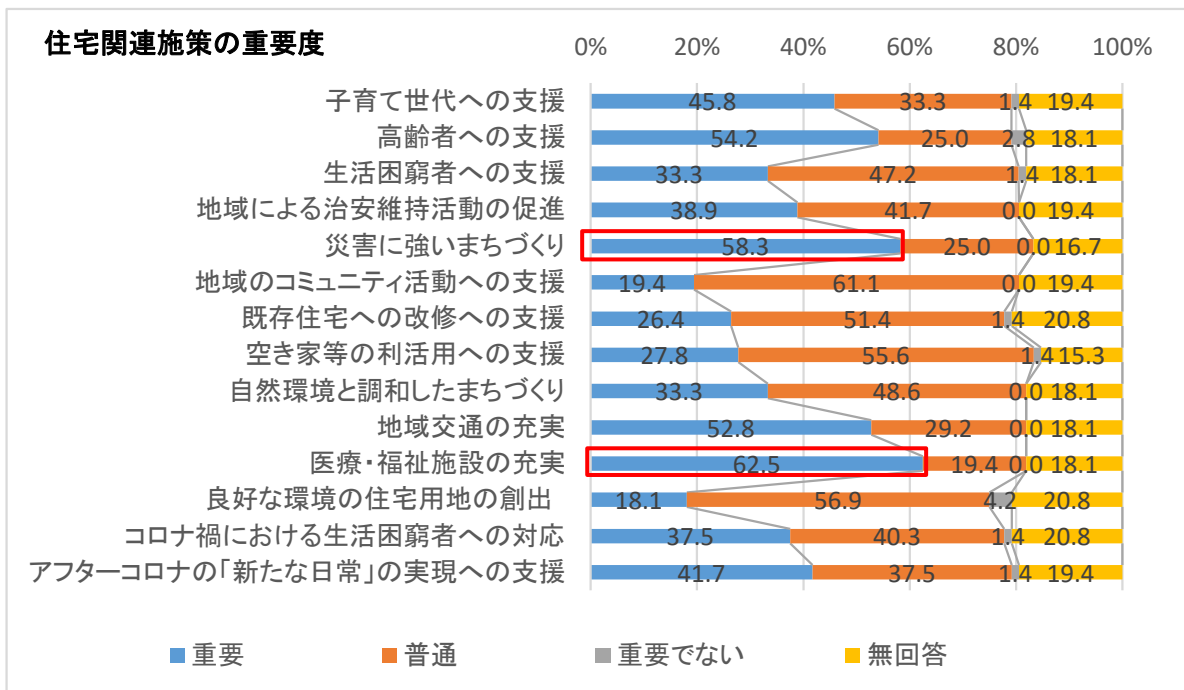
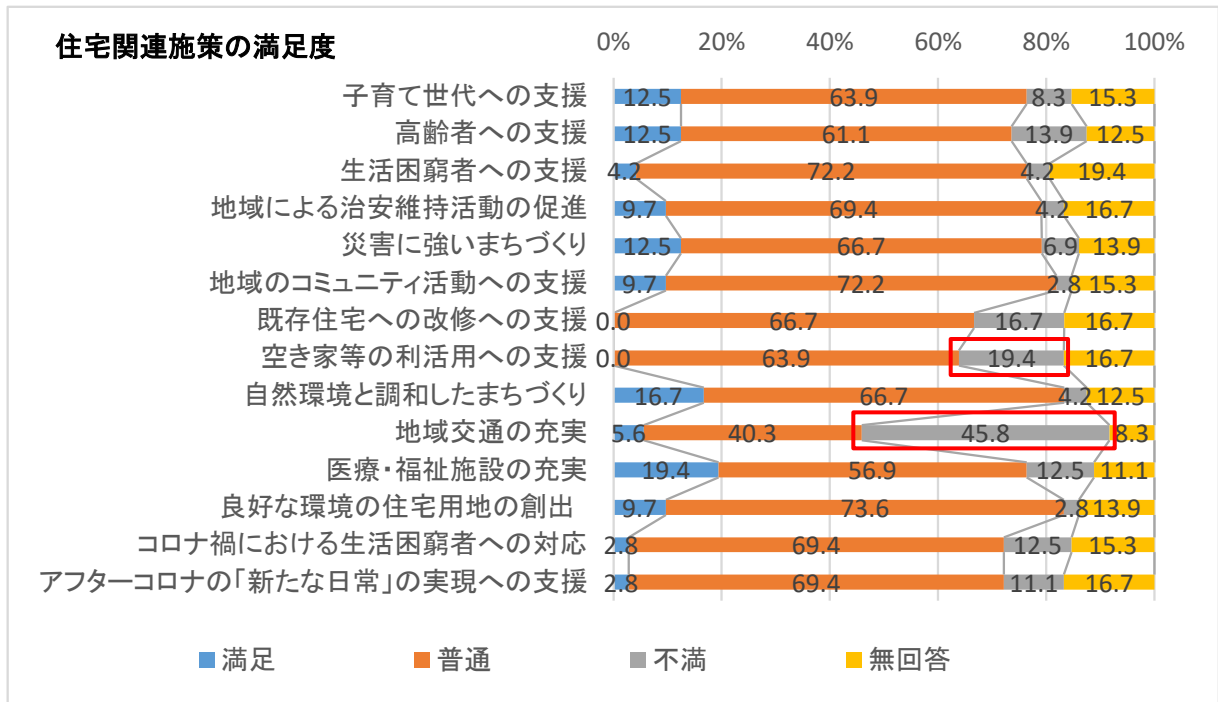
最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目であり、次いで「災害に強いまちづくり」の順となりました。



(5) 小津学区における住宅関連施策に関する満足度・重要度

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「空き家等の利活用への支援」「既存住宅への改修への支援」の順となりました。

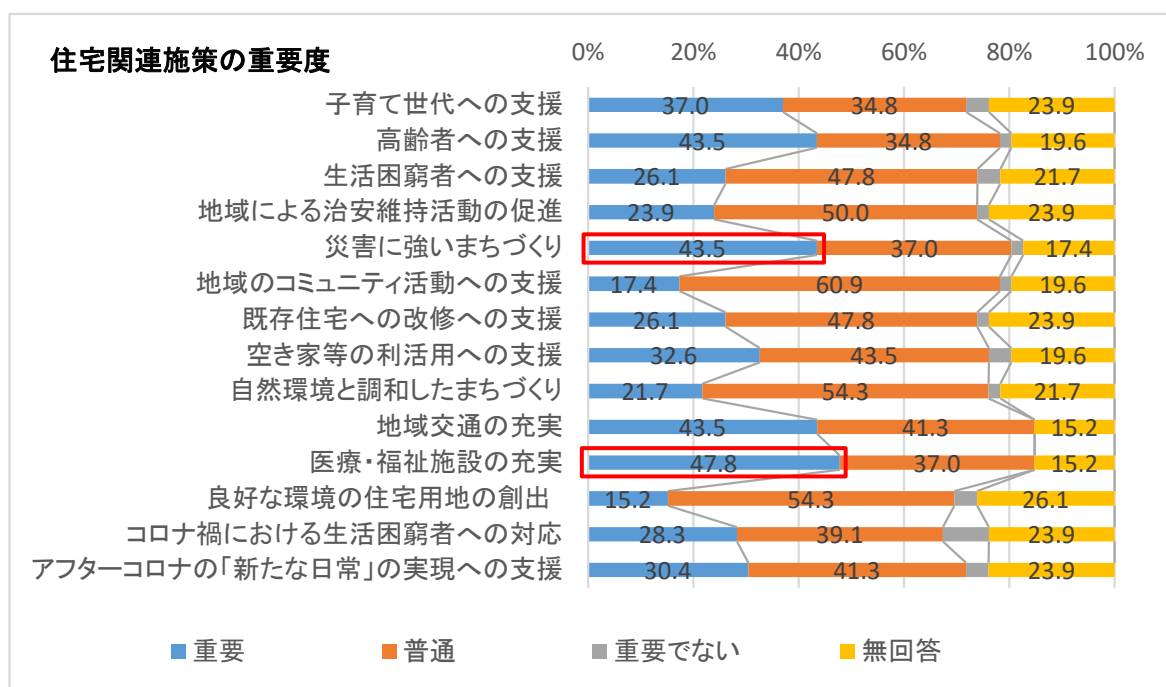
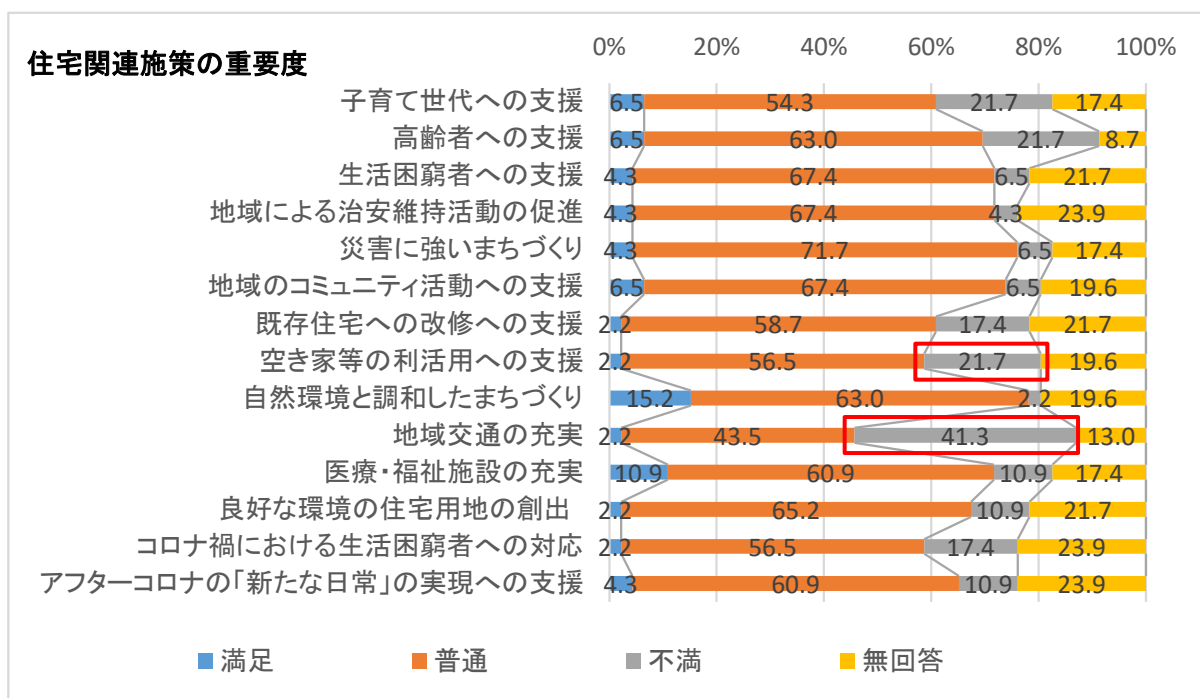
最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目であり、次いで「災害に強いまちづくり」の順となりました。



(6) 玉津学区における住宅関連施策に関する満足度・重要度

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「空き家等の利活用への支援」「既存住宅への改修への支援」の順となりました。

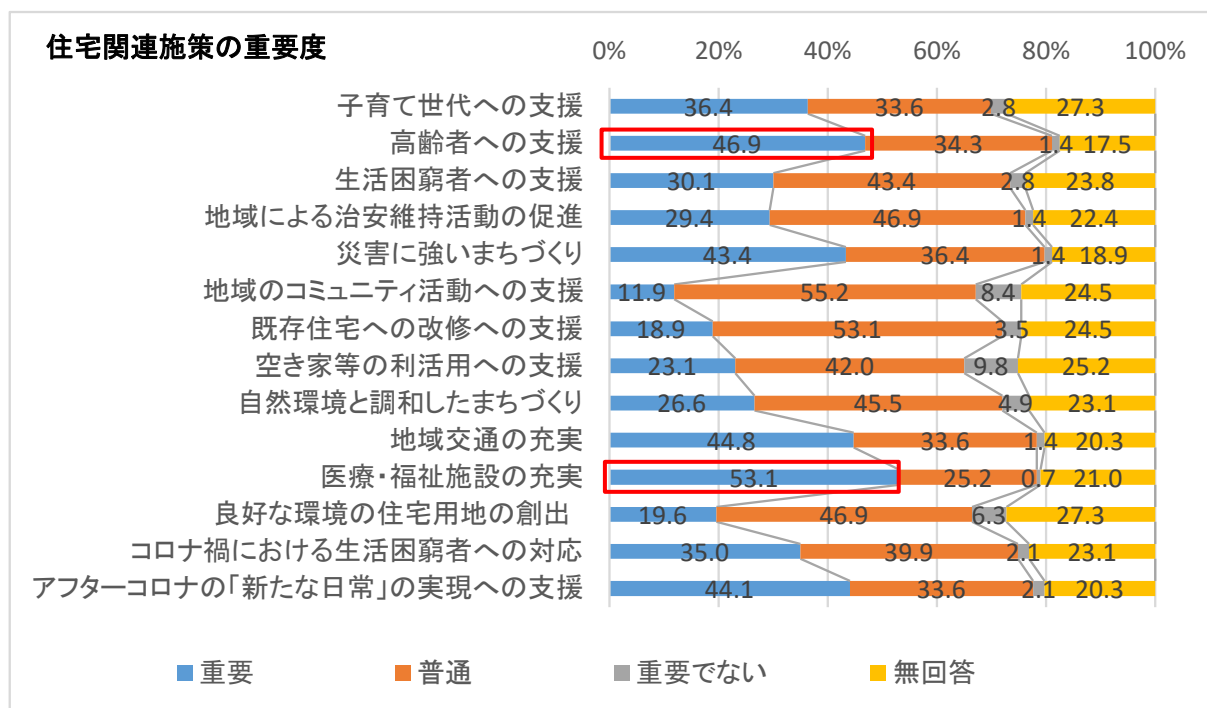
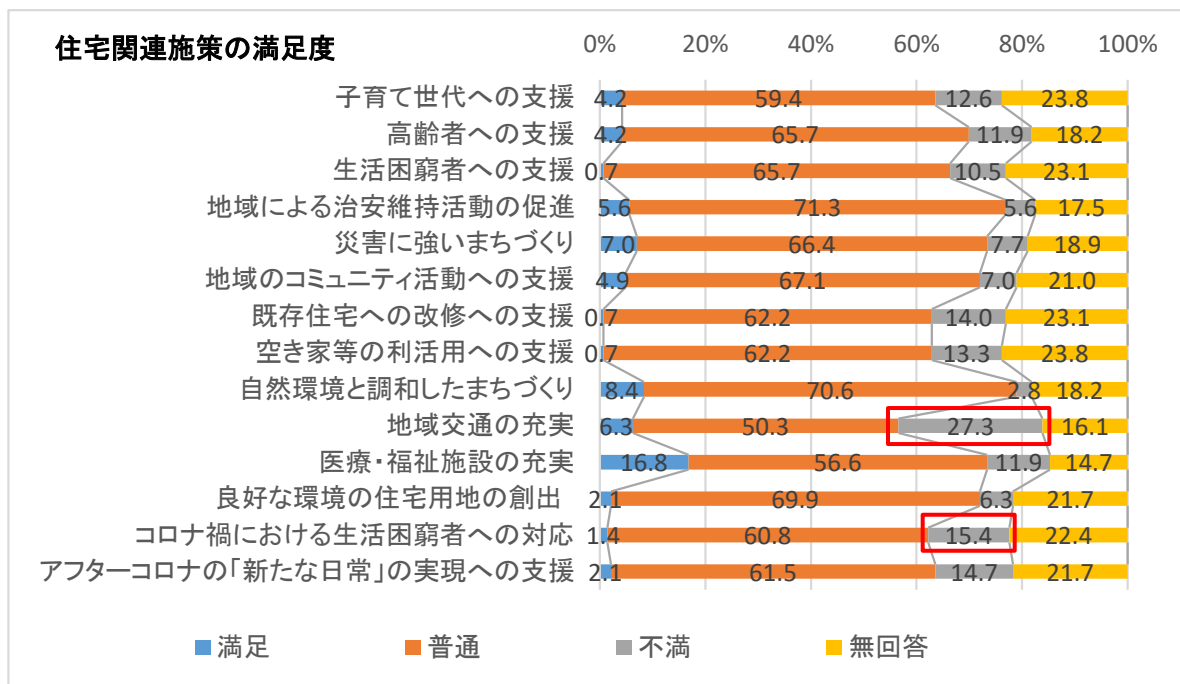
最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目であり、次いで「災害に強いまちづくり」の順となりました。



(7) 玉津学区における住宅関連施策に関する満足度・重要度

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「コロナ禍における生活困窮者への対応」の順となりました。

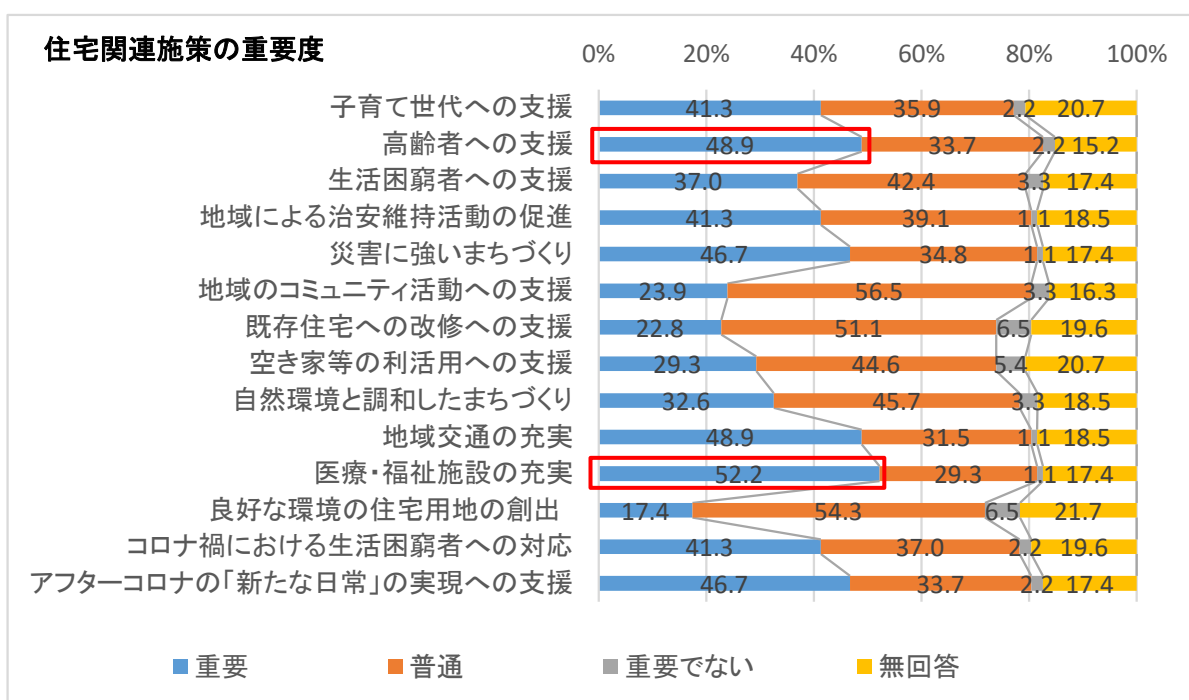
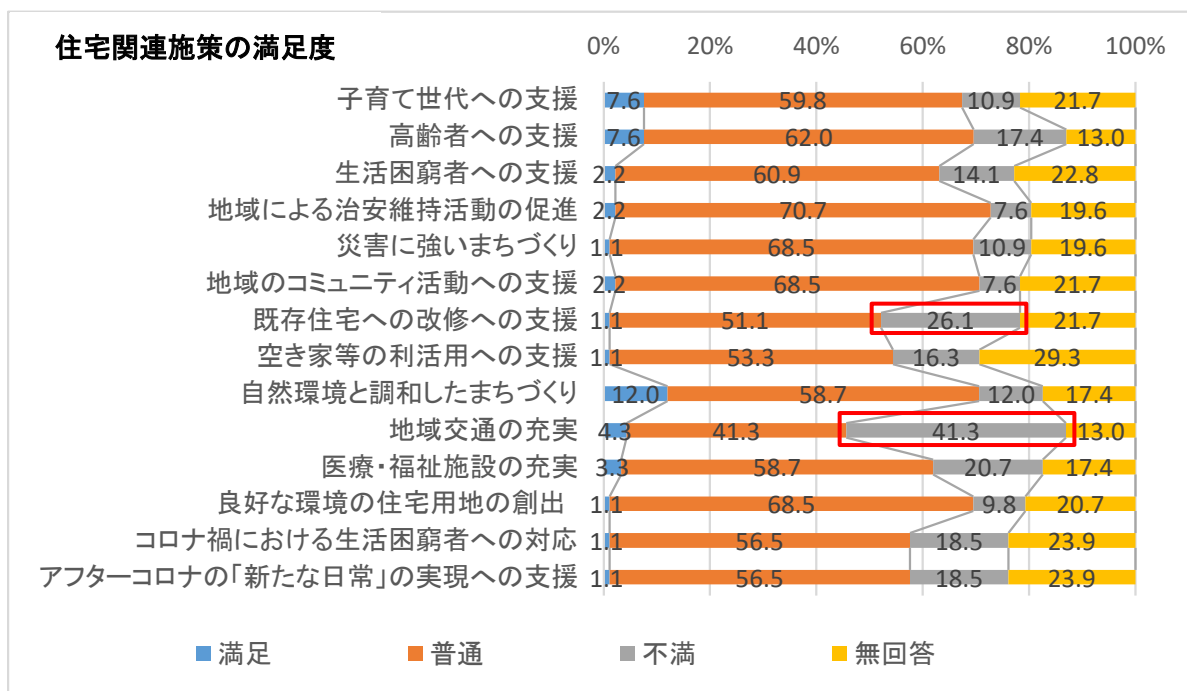
最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目であり、次いで「高齢者への支援」の順となりました。



(8) 速野学区における住宅関連施策に関する満足度・重要度

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「既存住宅への改修への支援」の順となりました。

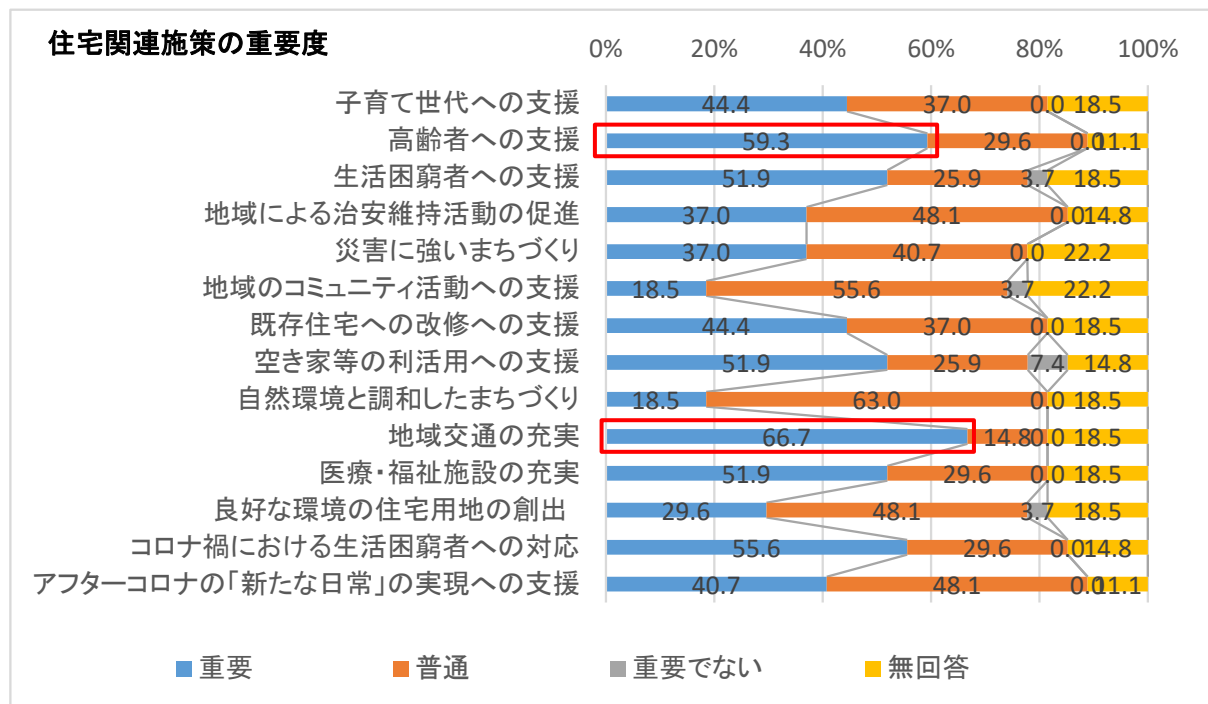
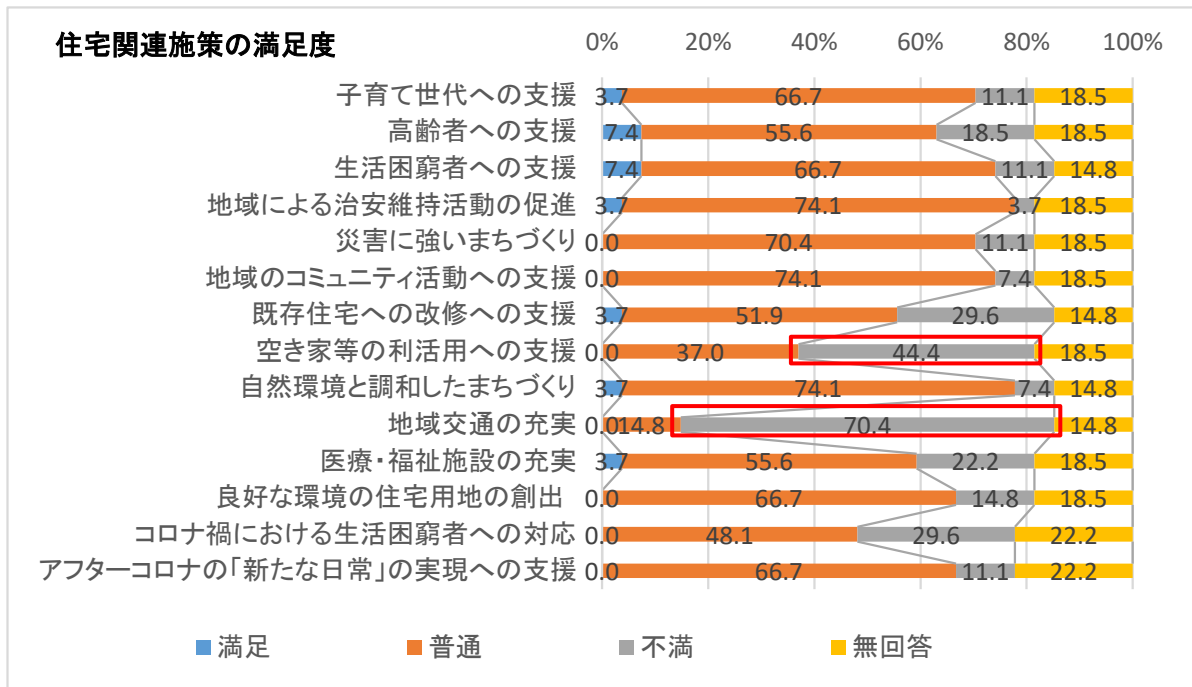
最も重要度が高いのは「医療・福祉施設の充実」の項目であり、次いで「高齢者への支援」の順となりました。



(9) 中洲学区における住宅関連施策に関する満足度・重要度

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」であり、次いで「空き家等の利活用への支援」の順となりました。

最も重要度が高いのは「地域交通の充実」の項目であり、次いで「高齢者への支援」の順となりました。

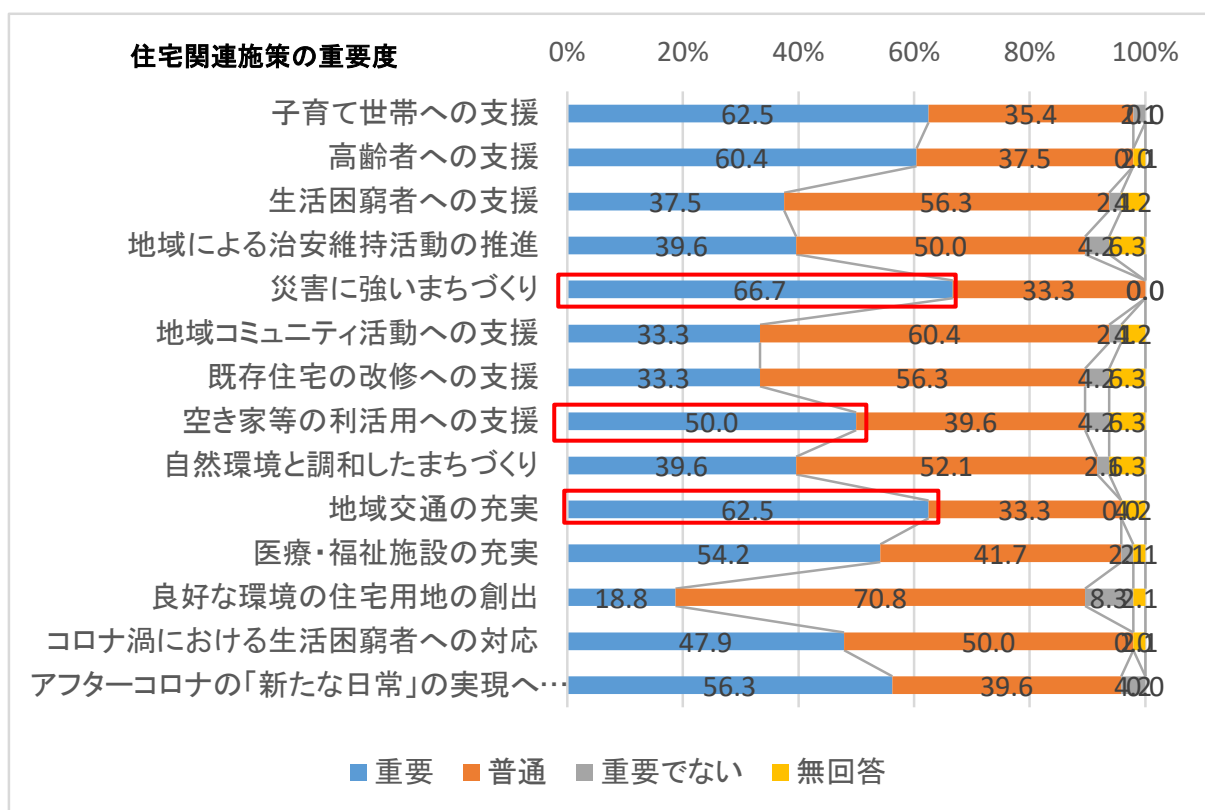
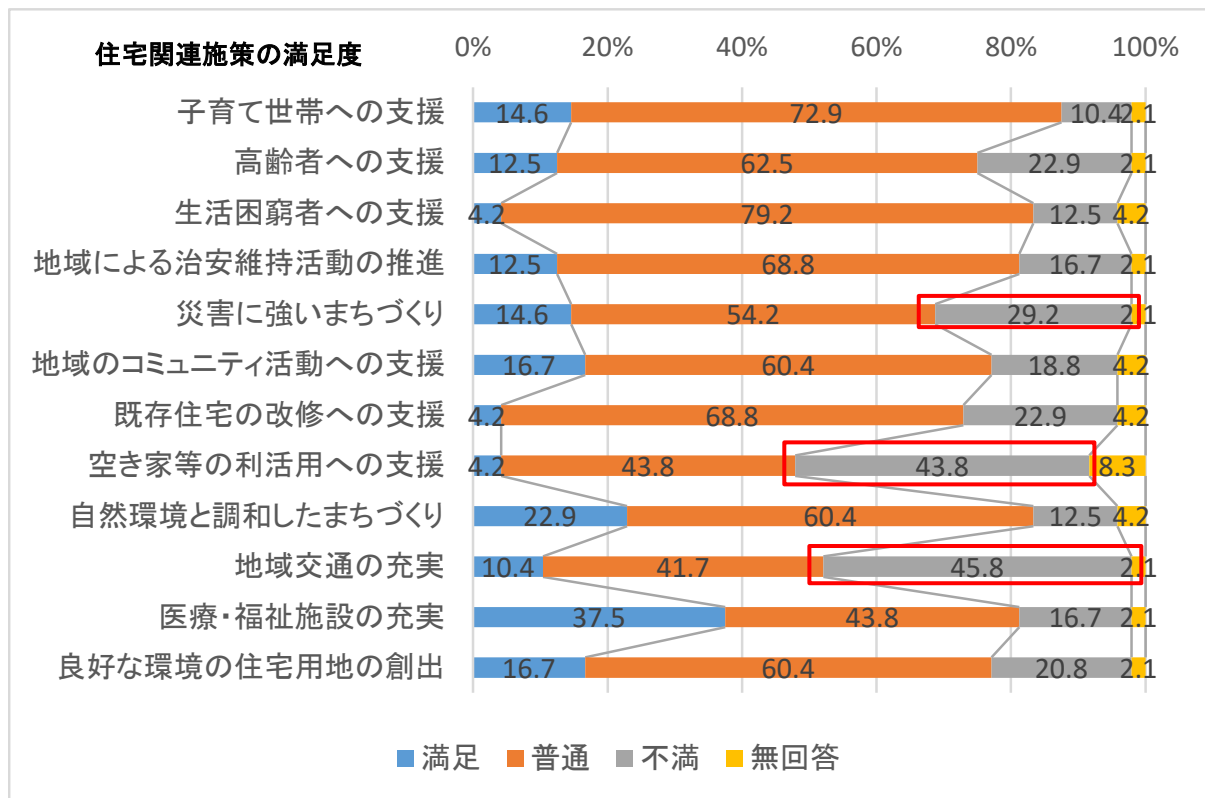


1 市の住宅関連施策に関する満足度・重要度について

(1) 住宅関連施策に関する重要度・満足度

● 「災害に強いまちづくり」の項目が重要度が最も高く、且つ満足度が低い

最も満足度が低いのは「地域交通の充実」で次いで「空き家等の利活用の支援」、「災害に強いまちづくり」の順となり、この3項目は、重要度が高く、且つ満足度の低い結果となりました。



(2) 今後の守山市において、「特に重要」と考える住宅施策。

● 「地域交通の充実」、「子育て世代への支援」、「災害に強いまちづくり」の重要度が高い

※ 「特に重要」と考える項目を3つまで選択

